

DVDFab 12 ユーザーマニュアル



目 录

著作権と免責声明.....	3
1. 紹介.....	4
2. DVD Fab をアップデートする.....	5
2.1 ライブアップデート.....	5
2.2 伝統的なアップデート方法.....	7
3. DVD Fab 12 を起動する.....	7
4. DVD Fab 12 を認証.....	8
5. メインインターフェース.....	10
5.1 スキン設定.....	10
5.2 ヘルプメニュー.....	11
5.3 モジュールメニュー.....	16
5.4 モードスイッチャ.....	16
5.5 プロファイルライブラリー.....	17
5.6 追加ボタン.....	18
5.7 操作ウインドウ.....	19
5.8 タスクキューマネージャ.....	20
5.9 保存先.....	24
6. 詳細設定.....	25
6.1 コピーオプション.....	25
6.2 リッピングオプションと変換オプション.....	27
7. 動画編集.....	29
7.1 ビデオプロパティパネル.....	30
7.2 トリムパネル.....	31
7.3 クロップパネル.....	32
7.4 ウォーターマークパネル.....	33
7.5 字幕パネル.....	33
7.6 ビデオパネル.....	34
8. 共通設定.....	35
8.1 一般.....	35
8.2 ドライブ.....	51
8.3 DVD.....	56
8.4 Blu-ray.....	60
8.5 ストリーム.....	64
8.6 変換.....	66
9. DVD Fab Mini.....	69
9.1 DVD Fab Mini の設定.....	70
9.2 DVD /Blu-ray をコピー.....	70
9.3 DVD/Blu-ray をリッピング.....	71
9.4 ほかの変換プロファイルを追加.....	71
10. DVD Fab リモート.....	73
10.1 DVD Fab リモートの使い方.....	73

10.2 DVD Fab リモートの操作手順.....	73
11. よくある質問.....	77
12. ユーザーマニュアルの更新について.....	81

著作権と免責声明

DVDFab.cn は、DVDFab 12 ユーザーガイドの著作権を持ち、全てのユーザー、発注者、ソフトウェアレビューの専門家に DVDFab 12 ユーザーガイドを無料で提供致します。このユーザーガイドについて、いかなるな商業目的に利用することは禁止されています。DVDFab.cn 会社の書面による許可なしに、いかなる部分も、複製、配布、またはあらゆる手段による複写（電子的、複写機、機械的、 photocopy、録画など）は禁止されています。

1. 紹介

DVDFab へようこそ！DVDFab 会社が世界一流なホームエンターテインメントソリューションを開発することに努力していて、成功に DVDFab 12 を開発しました。再設計した DVDFab は次の世代の DVD、ブルーレイと動画のバックアップ、変換及びオサリングするソフトとして、インタフェースを改善して、重大なアップデートをしました。例えば、DVDFab には複数のモジュールを同時に実行するパワーマネージメント機能を備えたタスクマネージャーや、スマートフォン画面から DVDFab 12 のリアルタイムタスクステータスを監視できる DVDFab リモート、ユーザーがコピーやコピーを入手できる DVDFab Mini など、できるだけ最短時間で最少のステップで実行される変換タスク。実際には、ユーザーが自分の目で見えるこれらの素晴らしい新機能を除いて、GUI の真下には、操作をスムーズにして、タスクを容易にするユニークなソフトウェアアーキテクチャやフレームワークなど、目立たない改善がたくさんあります。最後に、GUI スキンを変更して、まったく新しい DVDFab 12 になりました。

破壊的な革新と漸進的な改善は、ユーザーの心に一つのシンプルな信念をもたらしました。新しい DVDFab 12 は、史上の最高の DVDFab であり、下記の使命を帯びます：よりよいユーザーエクスペリエンスを提供いたします！

2. DVDFab をアップデートする

お使っている DVDFab バージョンによって、DVDFab 12 にアップデートする方法が様々です：

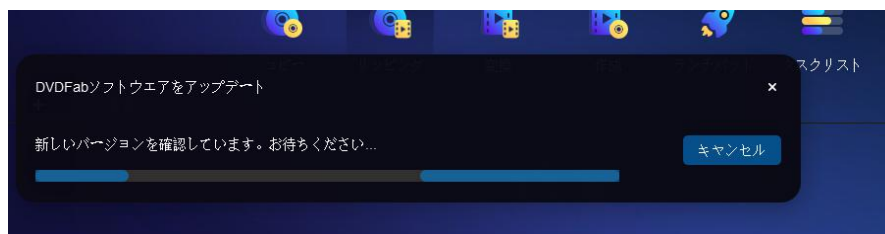
2.1 ライブアップデート



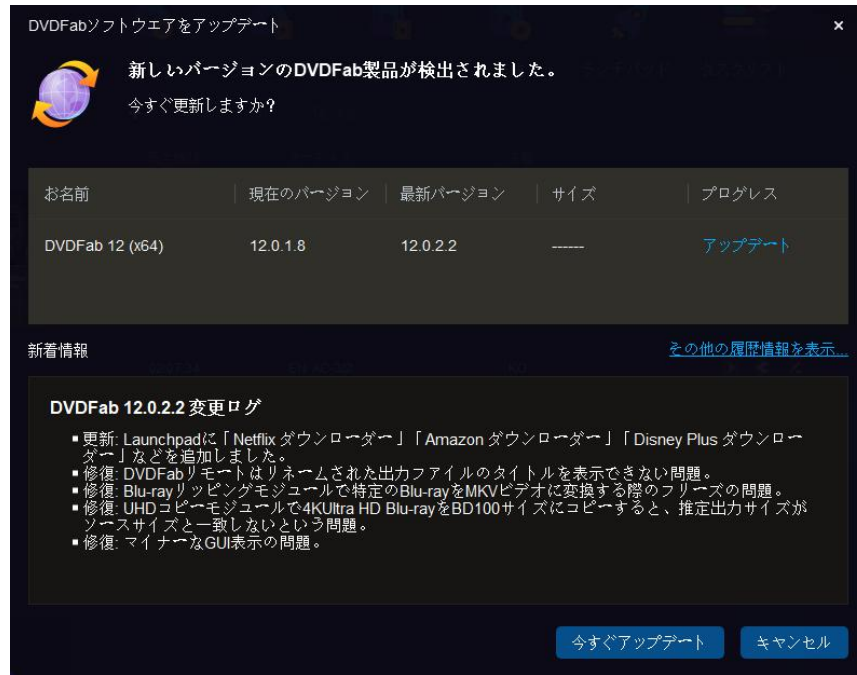
DVDFab 12 をインストールしているユーザーにとって、新しいバージョンがある場合、プログラムでライブアップデートを検索してアップデートできます。

詳しい方法は：

2.1.1 メインインターフェースの右上における▼ボタンをクリックして、表示されるドロップダウンメニューから「アップデートを確認」を選択します；

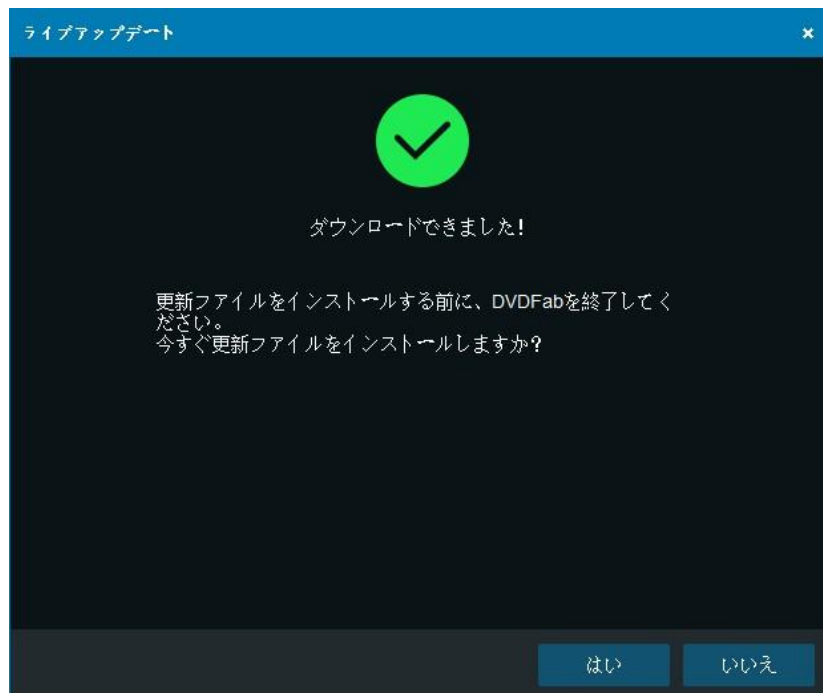


2.1.2 もし新しいバージョンがある場合、**更新** ボタンをクリックしてアップデートパッケージを選択します；



2.1.3 ダウンロードした後、DVDFab を終了して更新ファイルをインストールする請求が出る、

はい ボタンをクリックします；



2.1.4 数秒後、インストールが完了します。デスクトップにおけるショットカットアイコンをクリックして新しいバージョンを起動します。

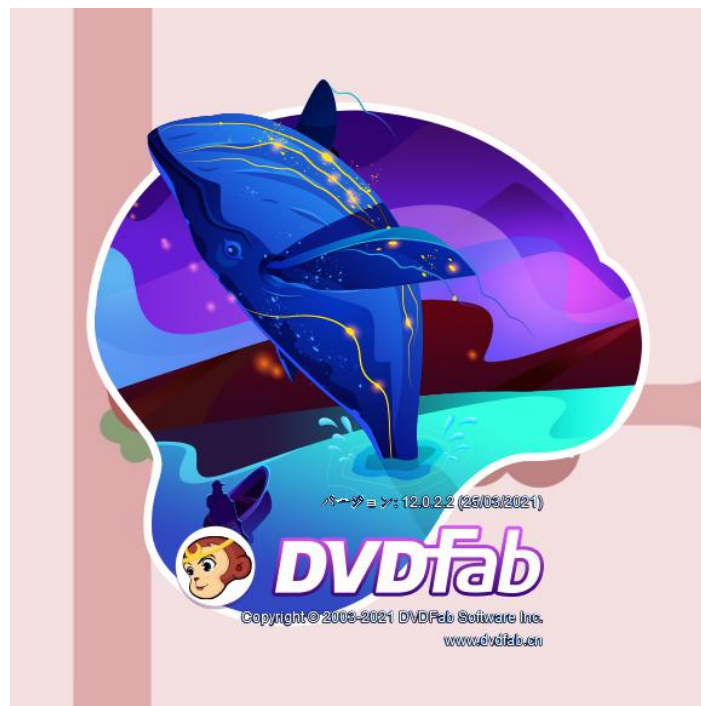
ご注意：ネットワークの原因で新しいバージョンの検索が失敗する可能性があります。このような場合で伝統的な方法でアップデートしてください。

2.2 伝統的なアップデート方法

DVDFab 10 や DVDFab 11 を利用しているユーザーは DVDFab 12 にアップデートしたい場合、DVDFab 公式サイト：<http://ja.dvdfab.cn/download.htm> に訪問して、最新の DVDFab 12 をダウンロードして、指示に応じてインストールして良いです。

3. DVDFab 12 を起動する

DVDFab 12 を起動する前に、インターネットの接続が正常に動作していることを確認してください。インターネットに接続すると、サーバーにアクセスして DVDFab12 は正常に動作します。DVDFab 12 をインストールしてから、デスクトップにおける製品のショートカットアイコンをクリックします。起動画面が表示されたら、ユーザーはソフトウェアがサーバーにアクセスしているとの情報を画面上で確認できます。この過程はインターネットの速度に応じて、数秒がかかることもあります。しばらくお待ちください。




起動画面の別の情報：DVDfab のロゴ、商標、ソフトウェアバージョン、リリース時間、提供者、及び提供者の Web サイト
 ご注意：コンピュータがインターネットに接続していなかったら、DVDFab 12 がサーバー情報にアクセスできなくて、そんな場合下記の画面が表示されます。そんな時に、使用できる製品は無料版の HD Decrypter だけです。



4. DVDFab 12 を認証

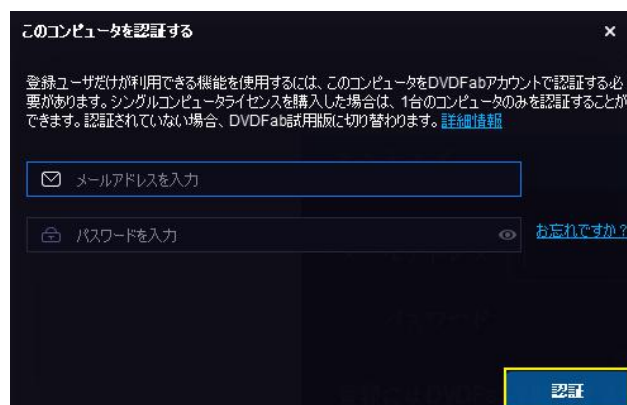
DVDFab11 と同様に、DVDFab12 は、まだオンライン検証方法を使用しています。このようにすれば、ライセンスコードを失うことを心配する必要はありません。注意をしておきたいことに、DVDFab 12 を認証する過程で、インターネットへの接続が必要であるので、ファイアウォールやウイルス対策ソフトウェアが DVDFab12 のインターネットアクセスを許可するように設定してください。

4.1.1 DVDFab12 をコンピュータにインストールした後に起動します。

4.1.2 起動画面の後に表示したのはライセンス情報ウインドウです。このウインドウにおける「認証」ボタンをクリックします。既にこのウインドウをスキップした場合も心配しないでください。メインインターフェースで、右上隅のアイコン  をクリックして、ドロップダウンメニューから「認証」タブを選択して、アクティブウインドウがポップアップされます。



ライセンス情報ウインドウ



認証ウインドウ

4.1.3 アクティブウインドウで、DVDFab メンバーセンターからもらった登録済みの電子メールとパスワードを入力します。

ご注意：まだ登録しない方は、[こちら](#)をクリックしてアカウントを作成してください。

4.1.4 「認証」 ボタンをクリックします。

4.1.5 アカウント情報を検証してから、ライセンス情報が確認できる [ライセンス情報] ウィンドウに戻ります。

5. メインインターフェース

前世代の製品と比較して、再開発された DVDFab12 のメインインターフェースは非常に簡潔です。画面の上にはモジュールメニューがあって、ユーザーは4つの主要ツール、コピーツール、リッピングツール、変換ツール、作成ツールを選択することができます。左上における DVDFab ログの下に、モード変換ボタン、追加ボタン、削除ボタン、ダウンロードボタンがあります。現在使用しているモジュールによって、ここに表示されるボタンは異なります。左下に保存先ボックスがあって、光学ドライブまたはコンピュータのハードディスクドライブから最終出力ファイルの保存場所を選択できます。メインインターフェースの中部における大きなボタンはソースファイルの追加ボタンです。右上隅に逆三角ボタンがあって、当ボタンをクリックして、ヘルプメニューを開くことができます。逆三角ボタンの左側における T シャツのようなアイコンをクリックして、スキン設定パネルが開きます。



5.1 スキン設定

DVDFab 12 を初めに、こちらはユーザーが好きなようにインターフェースのスタイルを設定できるスキン機能を導入しました。現在ユーザーが選択できる設計済みのスキンが4個あります。これらのスキンはモダンでスタイリッシュな要素がいっぱいあります。新しいスキン

は今後リリースされた新バージョンに追加される予定です。メインインターフェースの右上にある T シャツアイコンをクリックするとスキン設定パネルが表示されます。

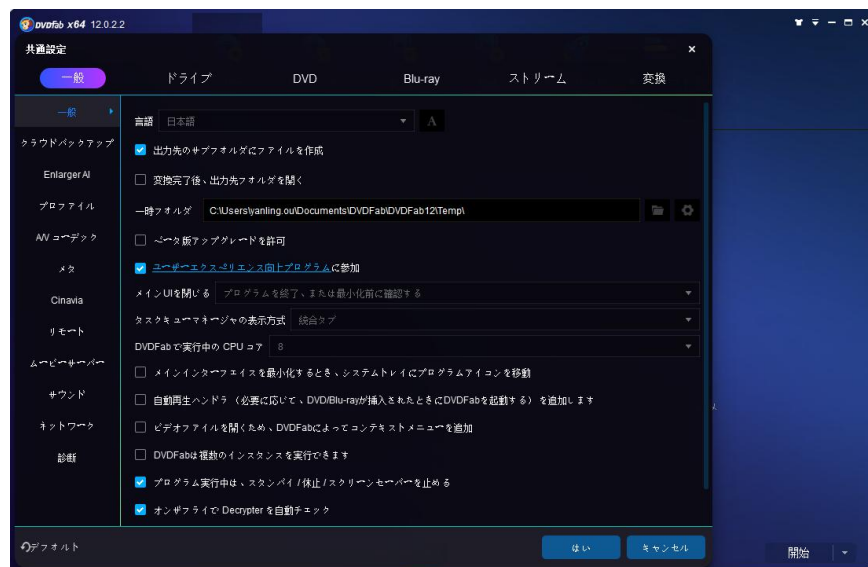


5.2 ヘルプメニュー

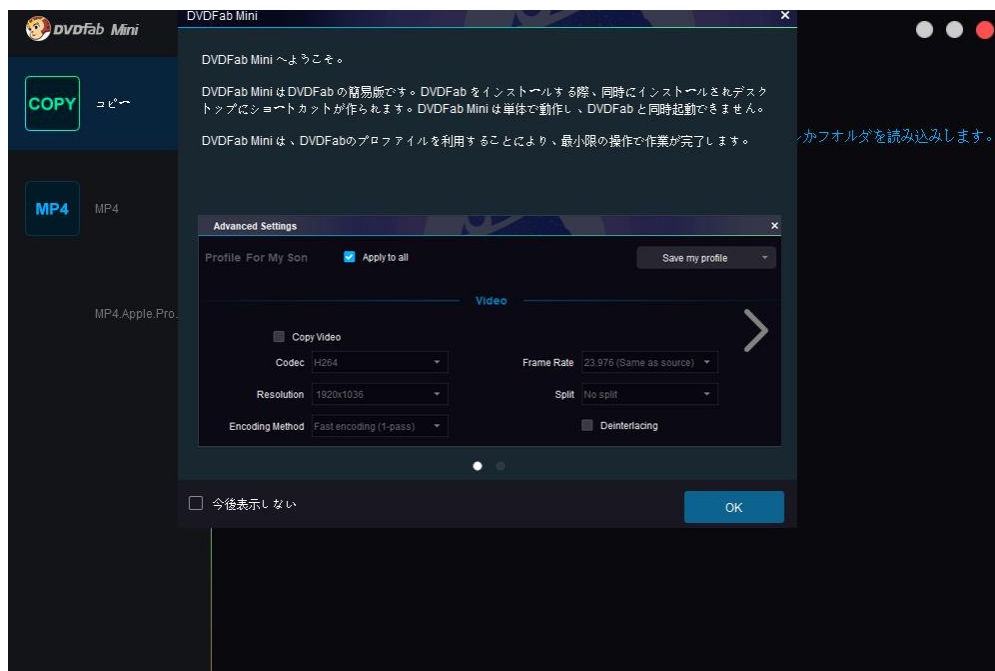
メインインターフェースの右上にある逆三角形のボタンをクリックすると、公式にヘルプメニューと呼ばれるドロップダウンメニューが表示されます。



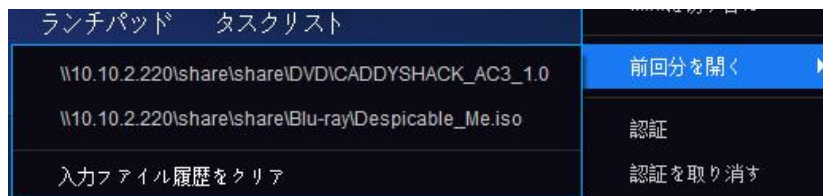
5.2.1 共通設定：このタブでは共通設定パネルが表示されます。



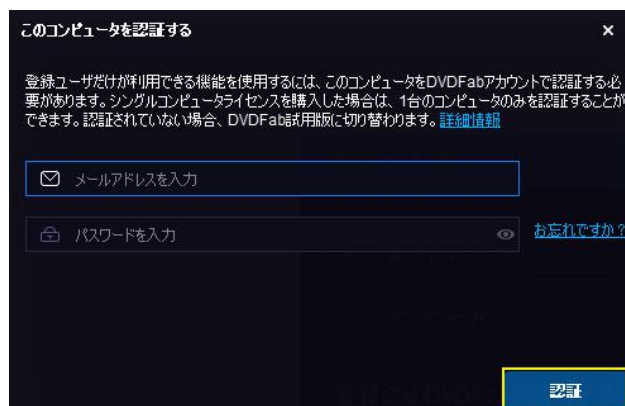
5.2.2 Mini にスイッチ: このタブで DVDFab 12 のフルバージョンを終了して、最新バージョン DVDFab 12 に導入した簡易版の DVDFab Mini を起動します。既に DVDFab を実行している場合、まずは「共通設定」<「一般」<「DVDFab を複数のインスタンスを実行できます」と設定しましょう。詳細情報については別の章で説明します。



5.2.3 前回分を開く: このタブで最近の追加リストからソースを速く追加できます。



5.2.4 認証: このタブでウィンドウが開きます。



5.2.5 登録情報: このタブでは、登録情報ウィンドウが開いて、ユーザーは購入したDVDFab 製品の現時ステータスを確認できます。

5.2.6 オンラインヘルプ: 当タブで、DVDFab のオンラインヒントページが表示します。

5.2.7 フォーラム: DVDFab に関する評論を知りたい場合あるいは他の経験豊富なユーザーから技術的な助けを求めたい場合、このタブをクリックしてください。

5.2.8 アップデートを確認: これをクリックして、利用可能な新しいアップデートがあるかどうかを確認できます。アップデート過程でインターネットへの接続が必要です。



新しいバージョンのDVDFab製品が検出されました。
今すぐ更新しますか?

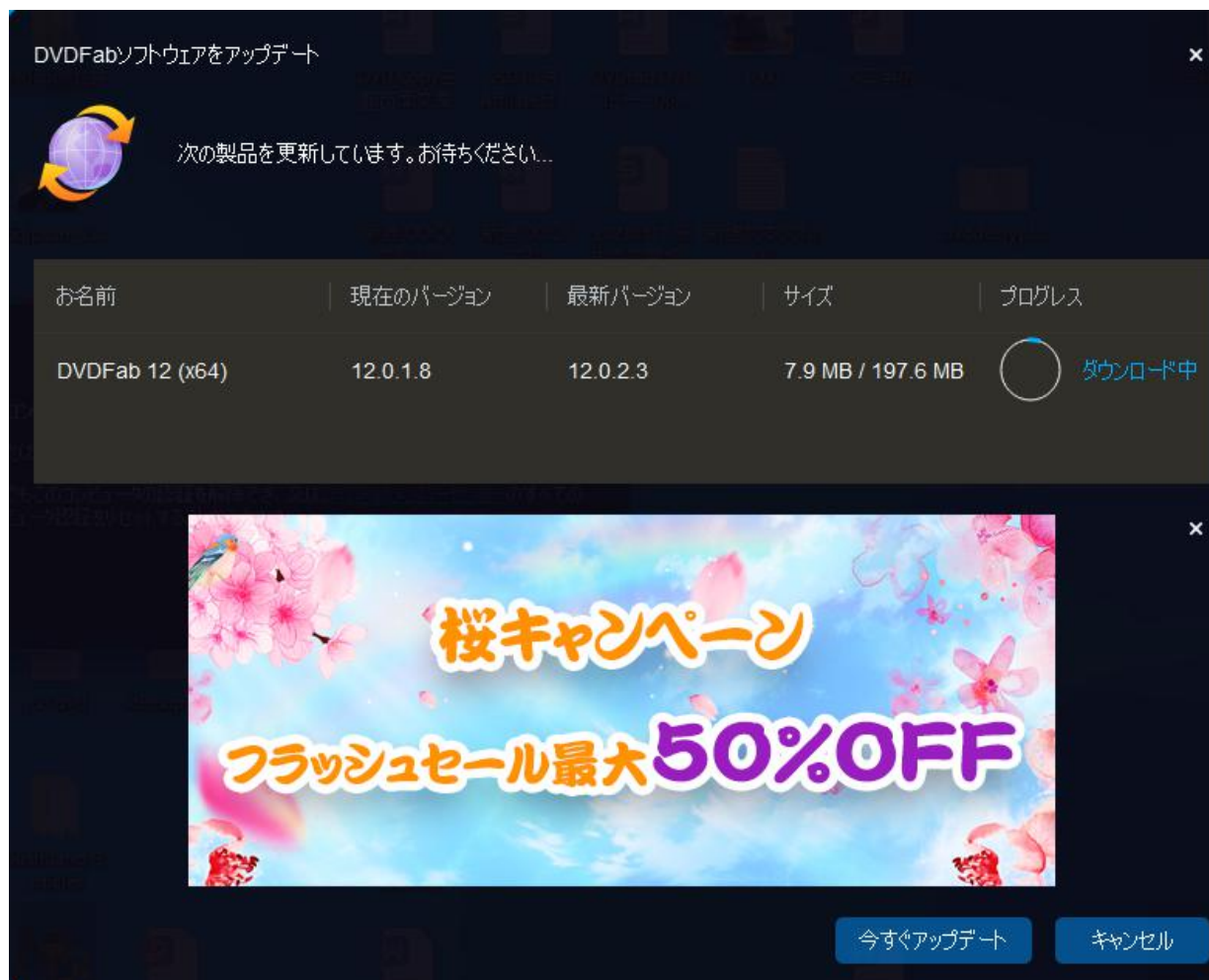
お名前	現在のバージョン	最新バージョン	サイズ	プログレス
DVDFab 12 (x64)	12.0.1.8	12.0.2.2	----	アップデート

新着情報 [その他の履歴情報を表示...](#)

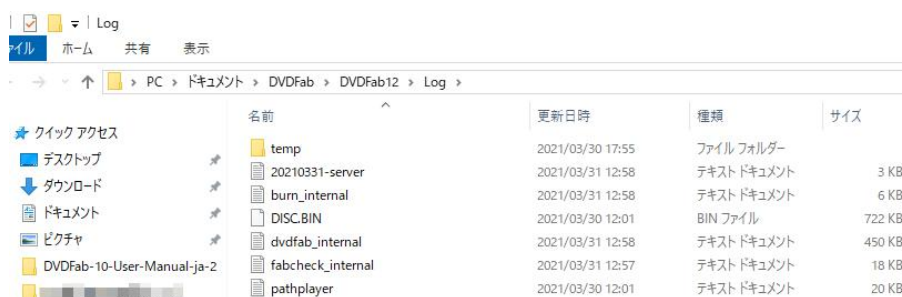
DVDFab 12.0.2.2 変更ログ

- 更新: Launchpadに「Netflix ダウンローダー」「Amazon ダウンローダー」「Disney Plus ダウンローダー」などを追加しました。
- 修復: DVDFabリモートはリネームされた出力ファイルのタイトルを表示できない問題。
- 修復: Blu-rayリッピングモジュールで特定のBlu-rayをMKVビデオに変換する際のフリーズの問題。
- 修復: UHDコピーモジュールで4K Ultra HD Blu-rayをBD100サイズにコピーすると、推定出力サイズがソースサイズと一致しないという問題。
- 修復: マイナースなGUI表示の問題。

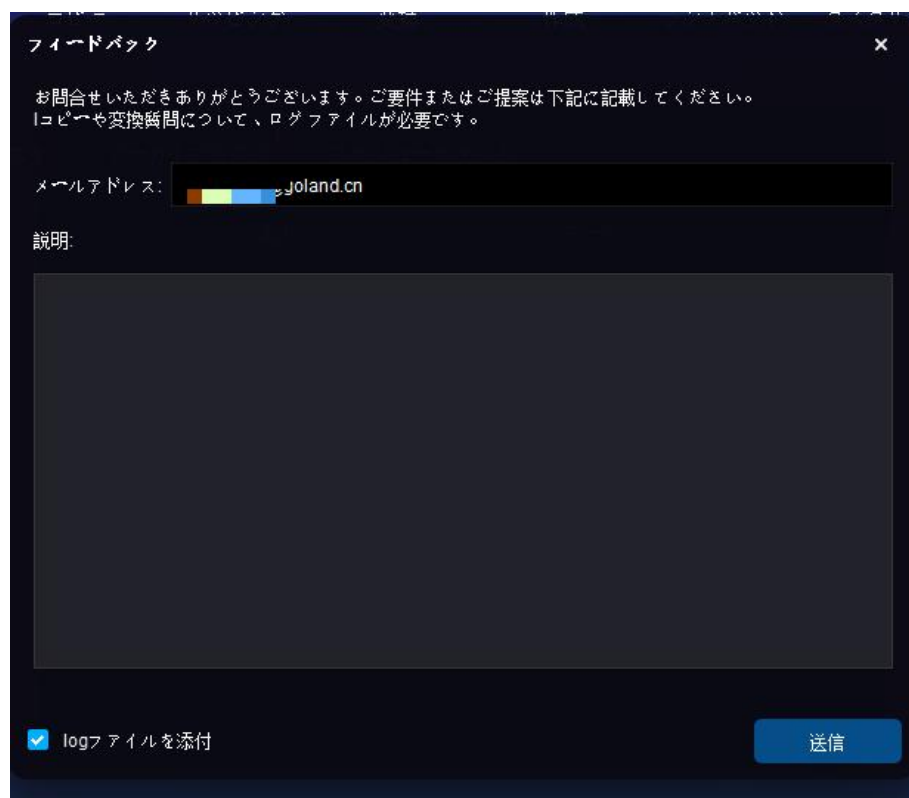
[今すぐアップデート](#)
[キャンセル](#)



5.2.9 ログフォルダを開く: これをクリックすると、すべてのログファイルが保存されたログディレクトリを開きます。



5.2.10 フィードバック: DVDFab 12 について何か問題が発生したら、このタブをクリックしてください。こちらの開発者が効率的に問題を解決して、すぐにお客様に返答するように、指示通りに自分の問題を詳しく説明してください。このフォームを使用すれば、DVDFab ログが添付されることに注意してください。



5.2.11 バージョン情報：このウインドウには、ソフトウェアのバージョン、発行者、発行者の公式サイトなどが表示されます。



5.2.12 社会ネットワーク：下部における3つのロゴで、それぞれにDVD FabがTwitter、FacebookとYoutubeに設立した公式ページを訪問できます。



5.3 モジュールメニュー



モジュールメニューにユーザーはコピー、リッピング、変換、作成と四つの主要なツールカテゴリの中で、DVDFab のモジュールを切り替えることができます。DVDFab 12 は同時に複数のモジュールを実行する機能があり、現在のモジュールで実行中のタスクが1つあるいは複数であっても、別のモジュールに切り替えることがはるかに簡単になります。

5.4 モードスイッチャ

コピーツールと作成ツールの場合、当ボタンの名前は異なって、モードスイッチャと呼ばれて、モードパネルにつながります。リッピングツールと変換ツールの場合、プロファイルスイッチャと呼ばれて、内部プロファイルライブラリーにつながります。



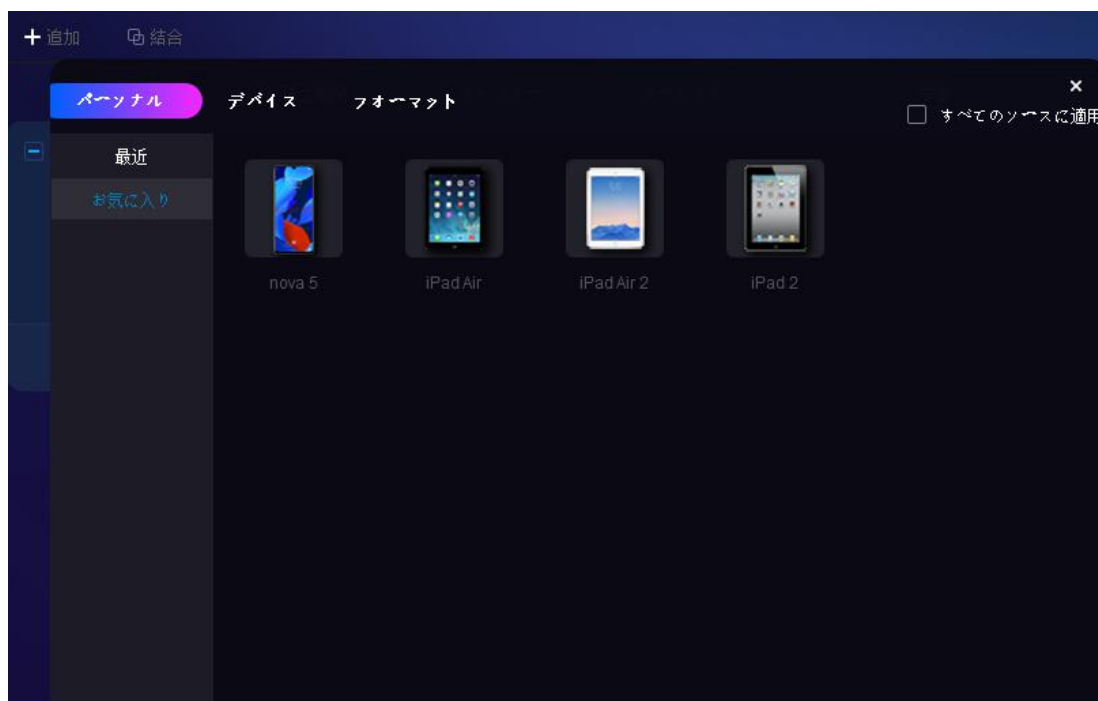
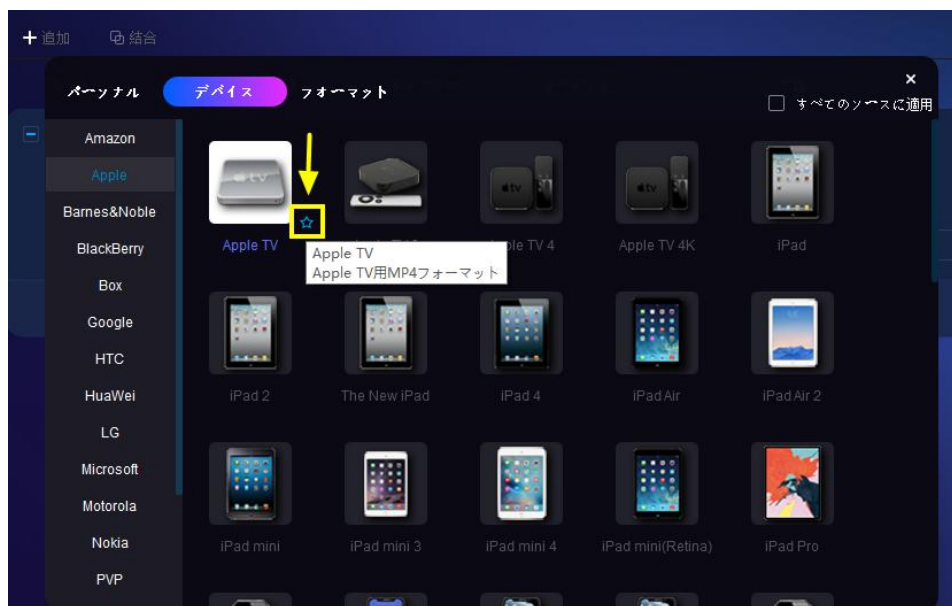
5.5 プロファイルライブラリー



上に示したように、プロファイルスイッチャをクリックすると、プロファイルライブラリーが表示されます。このプロファイルライブラリーには、様々なビデオフォーマットと世界中のほとんどすべての人気メーカーが製作したデバイスを対象に、事前に設計された多数のプロファイルが保存されています。それらは製造業者あるいはビデオフォーマットに基づいて組織されます。必要なものを簡単に見つけて選択することができます。

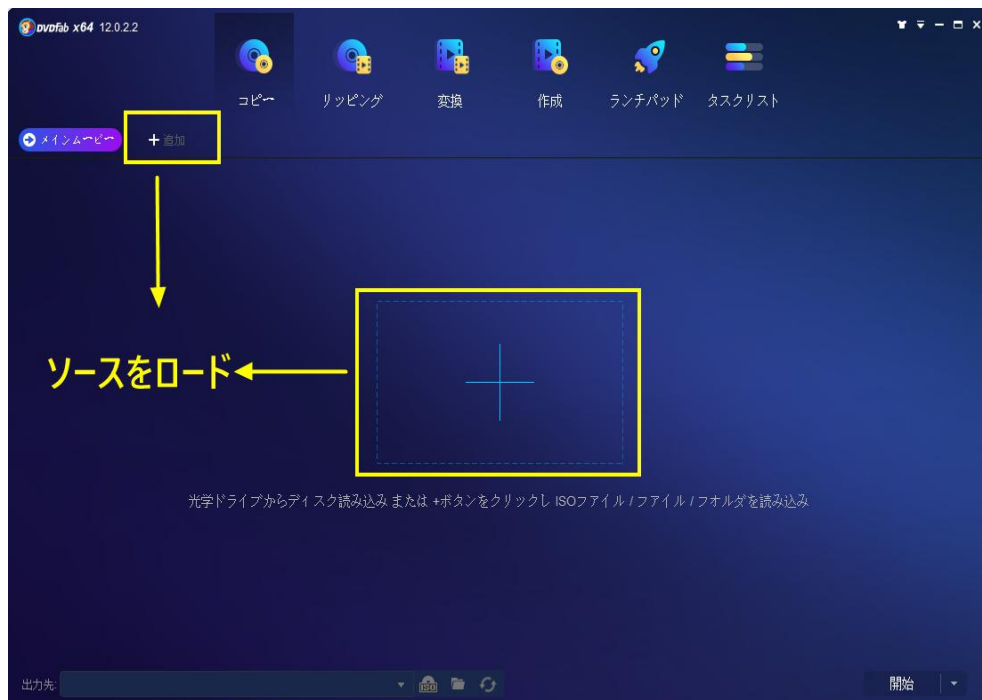
開発者が数十回更には数百回のテストを実行することによって、開発した製品がデバイスにぴったり対応できるビデオの出力を保証します。これは多数の設定済みの変換プロファイルの最大のメリットです。つまり、デバイスがサポートするビデオ形式がわからない場合、またはパラメーターが何であるかと技術に精通していない場合は、ここのプロファイルを選択して DVD、Blu-ray、ビデオを変換してから、ターゲットデバイスで再生することができます。弊社の開発者がすべての研究を行ったので、この便利なプロファイルを直接にご利用すると幸いです。

各プロファイルの右下隅には、空白の星があります。これをクリックして色を付けて「お気に入り」に追加することができます。つまりこの色付きプロファイルは定期的に使用するプロファイルで、色分けすることで、「個人的」エリアに、お気に入りのプロファイルリストに追加できます。次回新しいタスクを開始するときに、個人的エリアに移動して追加したプロファイルを選択するだけで済みます。もちろん、プロファイルのマークを外して個人的コレクションからこのプロファイルを削除することもできます。



5.6 追加ボタン

+ 追加 ボタンが二つあります。1つはメインインターフェースの左上隅における DVDFab ロゴのしたにあって、もう1つは操作ウィンドウの中央にあります。また、ソースをロードするために追加ボタンを使用したくない場合は、直接にメインインターフェースにドラッグドロップするだけで済みます。



5.7 操作ウィンドウ



図示されているように、操作ウィンドウはメインインターフェースの大部分を占めます。別のモジュールとモードを選択すると、ここに表示される内容が多少異なる場合があります。ユーザーは、タイトルの選択（常にメインムービータイトルが自動的に選択される）、あるいはコピー、リッピング、変換したいチャプター範囲の選択など、ここで多くの操作を実行できます。出力したビデオに保存したいオーディオトラックと字幕ストリームの選択もできます。

5.8 タスクキューマネージャ

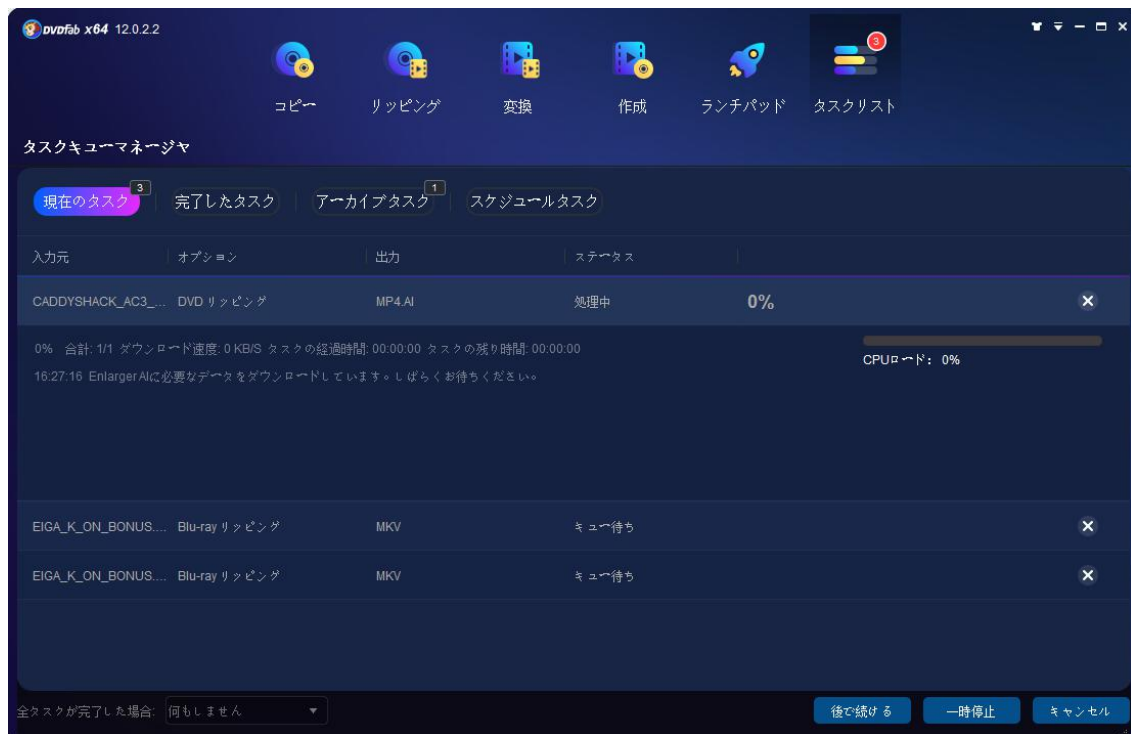
DVDFab 12 の再設計されたタスクキューマネージャは、新しくてより良いタスク管理経験を提供します。タスクキューマネージャは独立なウィンドウを持って、ユーザーがいつでも当ウィンドウを開いて、最小化と最大化ができて、こんな操作は処理中のタスクとキュー内で待機中のタスクに影響をもちません。しかし、閉じるボタンをクリックすると、現在のすべてのタスクが取り消されると注意してください。メインインターフェースの右上にあるアイコンをクリックすると、最新のタスクマネージャが開いて、現在のタスクと処理済みのタスクがすべて表示されて、各タスクの詳細状態、開始、処理中、キューで待機、成功、失敗、キャンセルされた、処理されていない、予期せずに終了するなどのすべての状態を一目で確認できます。

ユーザーは自由に新タスクをタスクキューマネージャに追加できて、処理中のタスクと多くの待機中のタスクがある場合でも、任意モードのタスクを追加できて、新ソースをロードできます。ユーザーは自由にタスクキューマネージャウィンドウとメイン操作ウィンドウを切り替えることができます。タスクを開始する前に、タスクの後にある小さな三角形ボタンをクリックすると、メイン操作ウィンドウに戻って、さらに編集することができます。



タスクマネージャを開く方法

この新しいタスクマネージャにより、DVDFab 12 は複数のモジュールを簡単に同時実行できます。



複数のモジュールを同時に実行

5.8.1 現在のタスク

現在のタスクリストに処理中及び実行前のタスクが表示され、ユーザーはそれをタスクリストから削除して、またはアーカイブタスクリストに保存することができます。削除されたタスクがごみ箱から直接に復元できます。またこのウィンドウを最小化して、メインタフフェイスに戻ってモジュールを選択して、タスクリストに新しいタスクを追加することができ、現在処理するタスクに影響は及びません。ご注意：追加されたタスクはこのリストの底部で処理を待っています。



現在のタスクリストタスクステータスの説明：

開始する準備ができた：タスクに関する設定と編集が完了しましたが、まだタスクを実行していません。メイン操作画面における「開始」ボタンをクリックする前に、前の設定や編集を変更できます。一旦「開始」ボタンをクリックすると、タスクのステータスはすぐ「処理中」に変更します。もし複数のタスクを同時に処理するなら、リストの一番上のタスクのステータスが「処理中」と表示され、ほかのタスクのステータスは「キュー待ち」と表示されます。

処理中：タスクは実行されています。この時、設定や編集を変更することができなくなります。

キュー待ち：このステータスはタスクが処理されるのを待っているという意味です。前のタスクが完了されると、このタスクはすぐに開始されます。この時、設定や編集を変更することができなくなります。

成功：タスクは成功に終了しました。

失敗：タスクは失敗しました。

キャンセル：タスクは既にユーザーにキャンセルされました。

5.8.2 アーカイブタスク

アーカイブタスクは前回操作したタスクのカスタム設定などの情報を保存する場所です。各タスクの処理状況によって、ユーザーは「成功」、「失敗」または「予期せずに終了」などのステータスタブが見えます。

タスクステータスの説明：

成功：タスクは成功に終了しました。

失敗：タスクは失敗しました。

予期せずに終了：プログラムはそのタスクの途中で予期せずに終了し、タスクが未完了です。そのタスクがデフォルトでアーカイブタスクのリストに保存されます。次回 DVDFab を起動する際、ユーザーはそれを再試行できます。






実行前：前のタスクを実行する時、プログラムがクラッシュした或いは予期せずに終了したため、タスクはまだ処理されていません。またはユーザーに手動でアーカイブタスクに保存されました。

上記の2番目～4番目の状況はタスクキューウィンドウの左下隅における「再ロード」ボタンをクリックして、タスクを再実行することができます。一旦アーカイブタスクのリストにあるタスクを再実行すると、タスクが現在のタスクリストへ移動されます。

5.9 保存先



このオプションによりコピーしたファイルの出力先が設定できます。「コピー」と「作成」オプションでデフォルトの保存先は書き込みドライブであり、 または  により、DVD/Blu-ray フォルダまたは ISO イメージファイルとして保存できます。

リッピングと変換オプションでデフォルトターゲットはC:ドライブで、 をクリックして、お好みに応じて保存場所を変更できます。

コピーと作成オプションで、保存先としてドライブを選択すれば、1つのタスクに対していくつかのコピーを作成するかというオプションが追加されます。「コピー数」の後ろにあるドロップダウンセクタをクリックして、表示された番号を選択してタスクを開始することができます。

6. 詳細設定

6.1 コピーオプション

ソースファイルが成功に読み込まれた後、タイトルの下に情報、映画/テレビ番組を検索、詳細設定、他のタイトルを選択、出力オプションが表示されます。



コピーツールに DVD コピーと Blu-ray コピーが含まれて、下記の設定画面があります。




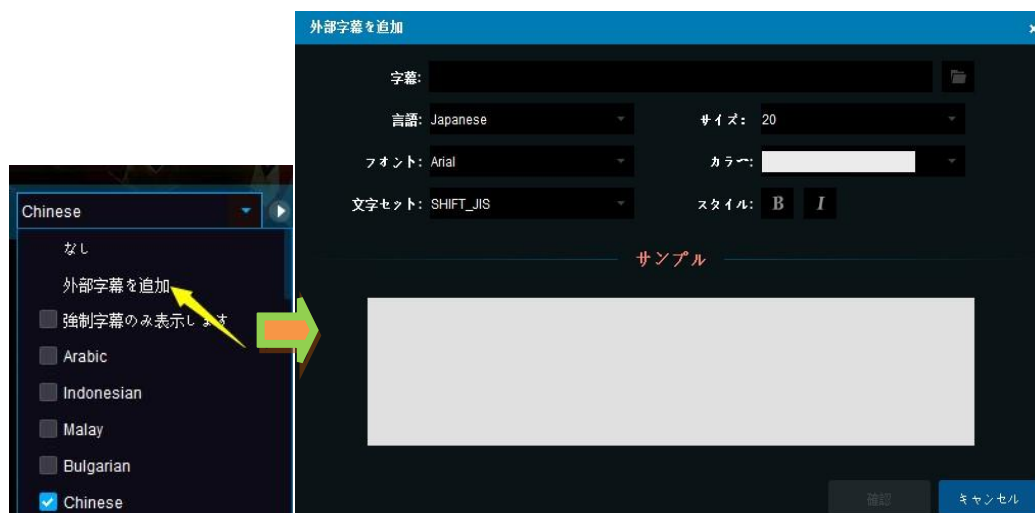
ソースファイルは DVD の場合の詳細設定パネル




ソースファイルは Blu-ray (3D) である時の詳細設定パネル

コピー過程で、自分の字幕を追加したい場合、字幕セクションをクリックして、「外部字幕を追加」とのタブを選択すると、下記画面のように字幕編集のウィンドウが表示されます。

フォルダーアイコン  をクリックして、パソコンのハードドライブから字幕ファイルをロード出来てくれるなどの関連プロパティを指定して、サンプルセクションでそれぞれの関連プロパティの設定効果がプレビュー出来ます。

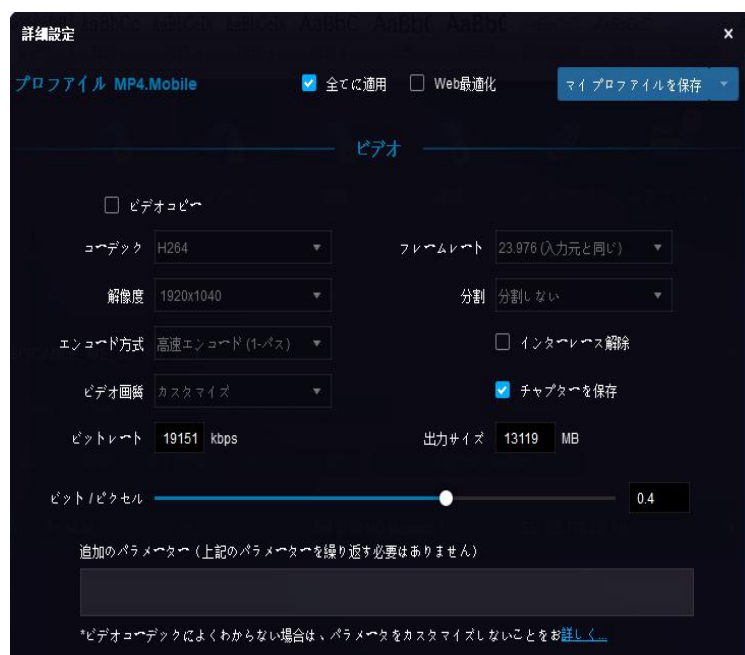


6.2 リッピングオプションと変換オプション

ソース情報欄に詳細設定ボタンと編集ボタンがあります。、ソースファイルをロードすると、詳細設定ボタンが表示します。詳細設定ボタンをクリックして、お好みに応じてビデオ、オーディオ、字幕などのパラメーターを設定することが出来ます。



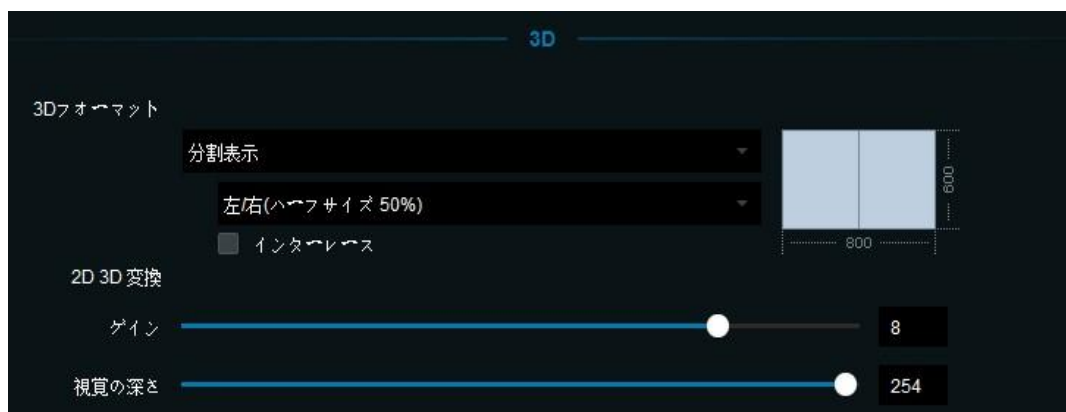
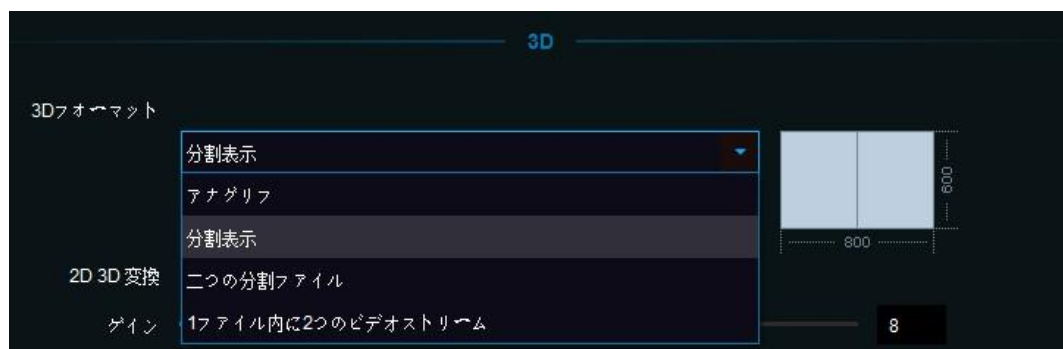
6.2.1 ビデオ設定：当セクションにビデオコーデック、エンコード方式、解像度とフレームレートが変更できて、ビデオ画質、ビットレート、出力サイズ、ビット/ピクセルが設定できて、インターレースを解除するかどうか或いはチャプターで分割するかどうか勝手に設定出来ます。



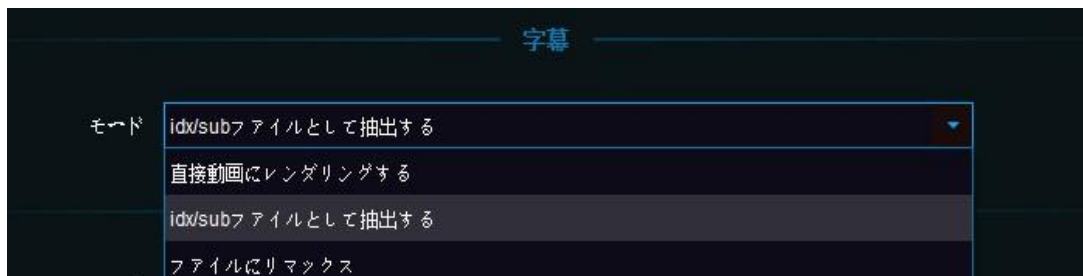
6.2.2 オーディオ設定：ビデオの設定と同様に、[オーディオ]セクションでオーディオコーデック、サンプルレート、チャンネル、ビットレート、ボリュームが設定できます。



6.2.3 3D 設定：プロファイルライブラリから 3D プロファイルを選択すれば、3D 設定セクションがアクティブされるようになります。当セクションで、四つの 3D フォーマット「アナグリフ」、「分割表示」、「二つの分割ファイル」、「1 ファイル内に 2 つのビデオストリーム」を選択出来て、「ゲイン」と「視覚の深さ」の数値も設定出来ます。



6.2.4 字幕設定：このセクションでは、リップリングまたは変換プロセス中に字幕の処理方法を決定できます。字幕ストリームの数、選択したプロファイルと再生デバイスによって、「直接動画にレンダリング」、「ids/sub ファイルとして抽出する」、「ファイルにリマップ」という三つの字幕モードが選択できます。



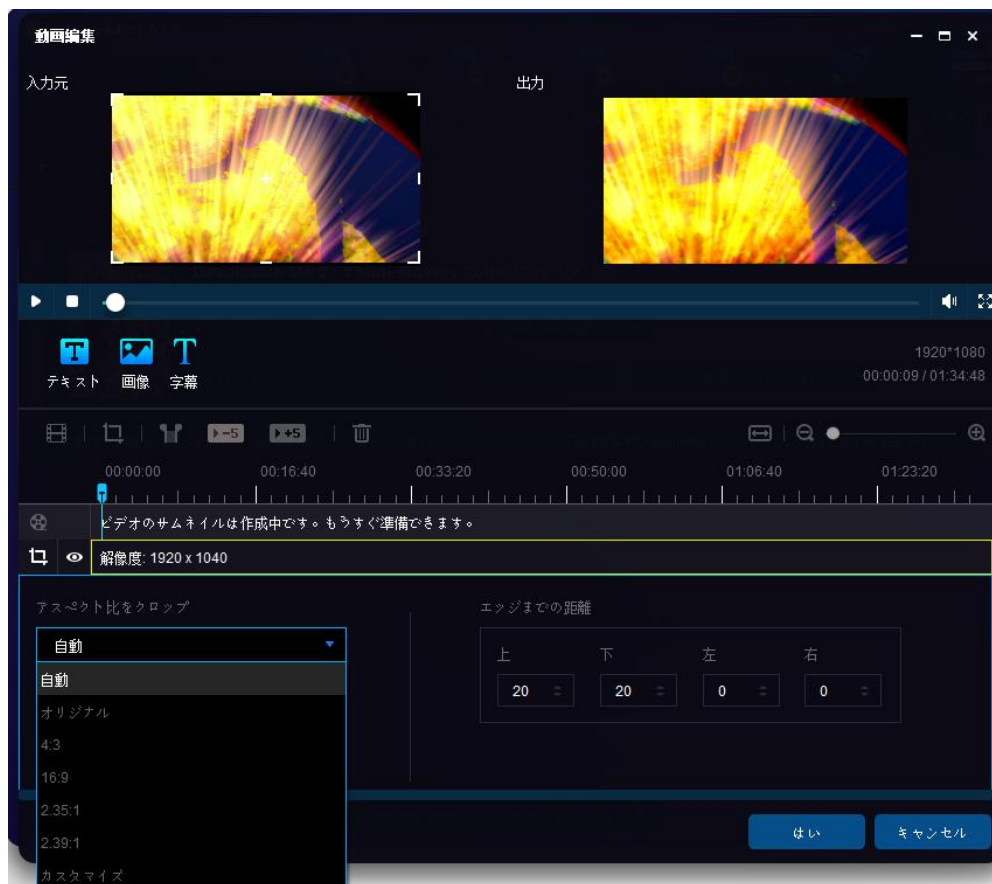
7. 動画編集



リッピング機能と変換機能メインインターフェースにレンチのような詳細設定ボタンの右に動画編集ボタンがあり、鉛筆のように見えます。動画編集ボタンを押すと、「動画編集」ウインドウが表示されて、当ウインドウは今までバージョン 10 とバージョン 11 の動画効果設定パネルとして知られました。

このパネルは、ビデオプロパティパネル、トリムパネル、クロップパネル、テキストパネと画像パネルのウォーターマークパネル、字幕パネルの 5 つの部分に細分されています。お好みに応じて、ソースビデオを細かく編集することができます。

7.1 ビデオプロパティパネル



入力元プレビューウィンドウ：当ウィンドウでユーザーが出力ビデオの効果と比較できます。
出力プレビューウィンドウ：当ウィンドウで設定を変更する場合、出力する動画効果を表示します。



アスペクト比：ビデオクロップに内蔵されるボタンで 16:9、4:3、2.35:1、2.39:1 と 4 つのアスペクト比が選択できて、或いはカスタマイズオプションでアスペクト比を自分で設定出来ます。

回転：2つの回転ボタンを押すごとに、90度時計回りまたは90度反時計回りで回転することが出来ます。

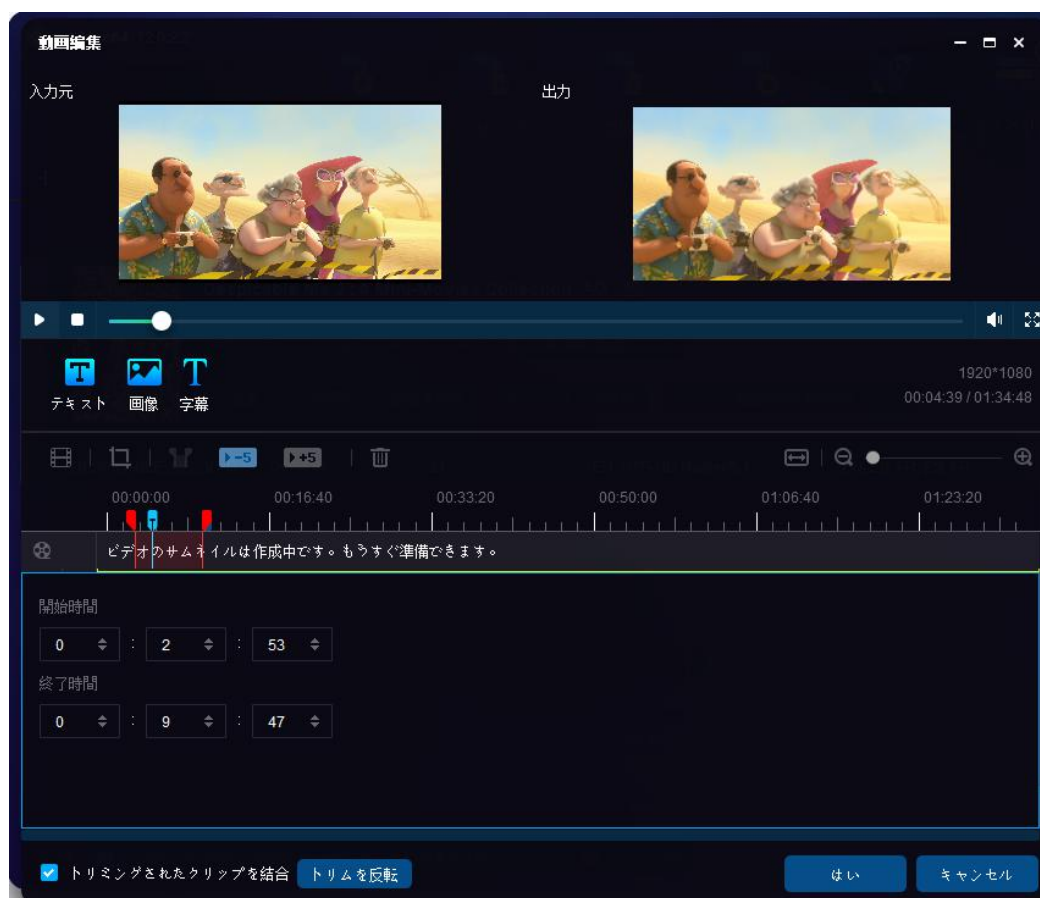


7.2 トリムパネル

名前通りに、トリム機能でユーザーがDVD/Blu-ray 映画とほかのビデオから特定した断片を選択して変換できます。この機能で、ユーザーがソース映画のチャプター順序に拘らなくて、何時でもどこでも好きな断片を観賞できます。

スライドボタンをドラグするか、或いは進むボタンと戻るボタンをクリックして、必要なビデオ断片を確定してから、とボタンにより開始点と終了点を設定します。設定してから、プレビューボタンをクリックして、選択したビデオを観賞できます。

プレビューが大丈夫だったら、このウィンドウにある確認ボタンをクリックすると、前のステップに戻ります。

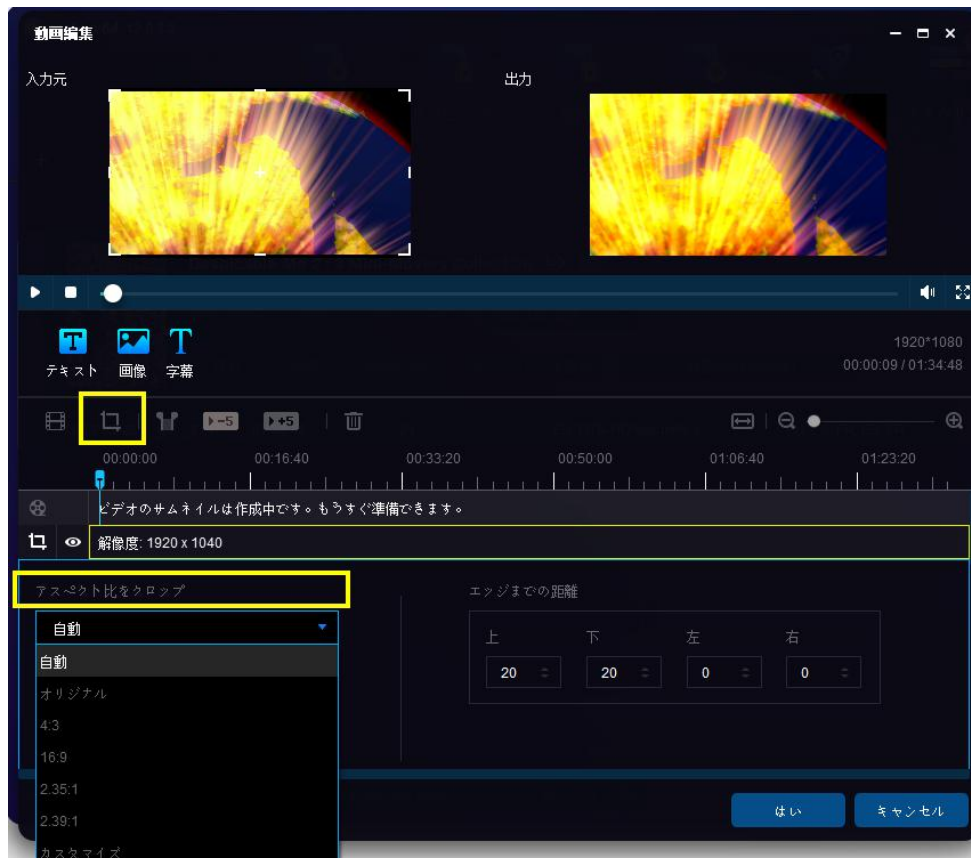


反転機能で、先に選択した断片の以外の部分が選択されて、その部分を保留して、先に選択した部分をソースビデオからカットするという意味です。「トリムされたクリップをマージする」をアクティブすれば、残した部分が自動的に統合して、単一のビデオクリップに保存されるようになります。

反転機能とスライドバーを組み合わせると、ユーザーはオリジナルビデオから数のクリップを削除して、残したクリップを結合できるようになります。これは、子供に映画にある大人向けのシーンを見ないでほしい場合に特に役立ちます。



7.3 クロップパネル

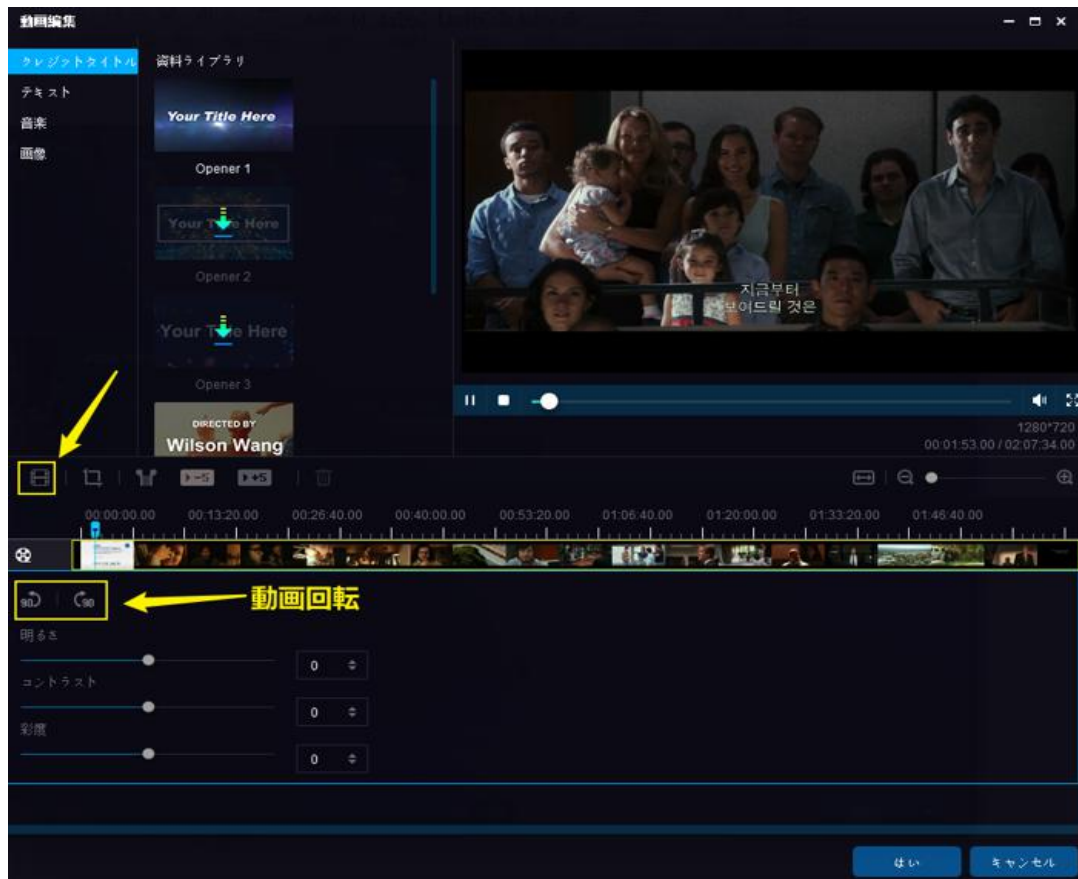



クロップ機能で、変換したいビデオの画面表示範囲を設定できます。当機能は、余白付きのソースビデオの処理に特に適しています。クロップアスペクト比にオリジナル（全部保持するとの意味）、4:3、16:9、2.35:1、2.39:1 とカスタマイズとの六つの選択肢があります。

エッジまでの距離: 三角形と逆三角形のボタンをクリックして、或いは四つのボックスに具体的な値を入力するだけで、上、下、左と右の値を加減することができて、出力したビデオの幅と高さが自動的に対応的な値に変換します。またソースビデオのプレビュー域に、手動で表示したい範囲を指定し調整することもできます。

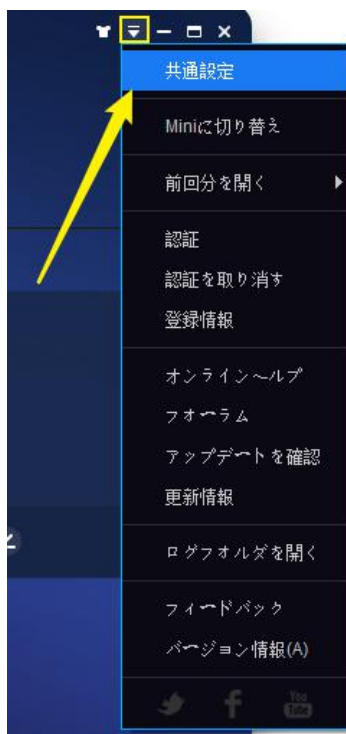
字幕パネルで埋め込まれた字幕が十分ではない場合、出力したビデオに外部字幕を追加することができます。フォルダのアイコンをクリックするだけで、外部字幕を検索して追加できます。

7.6 ビデオパネル



「ビデオプロパティ」  パネルでお好みに応じてバーをスライドして、或いはボックスにある関連数値を変更する方法で、ユーザーが明るさ、コントラスト、彩度などの出力ビデオ効果を調節することが出来ます。

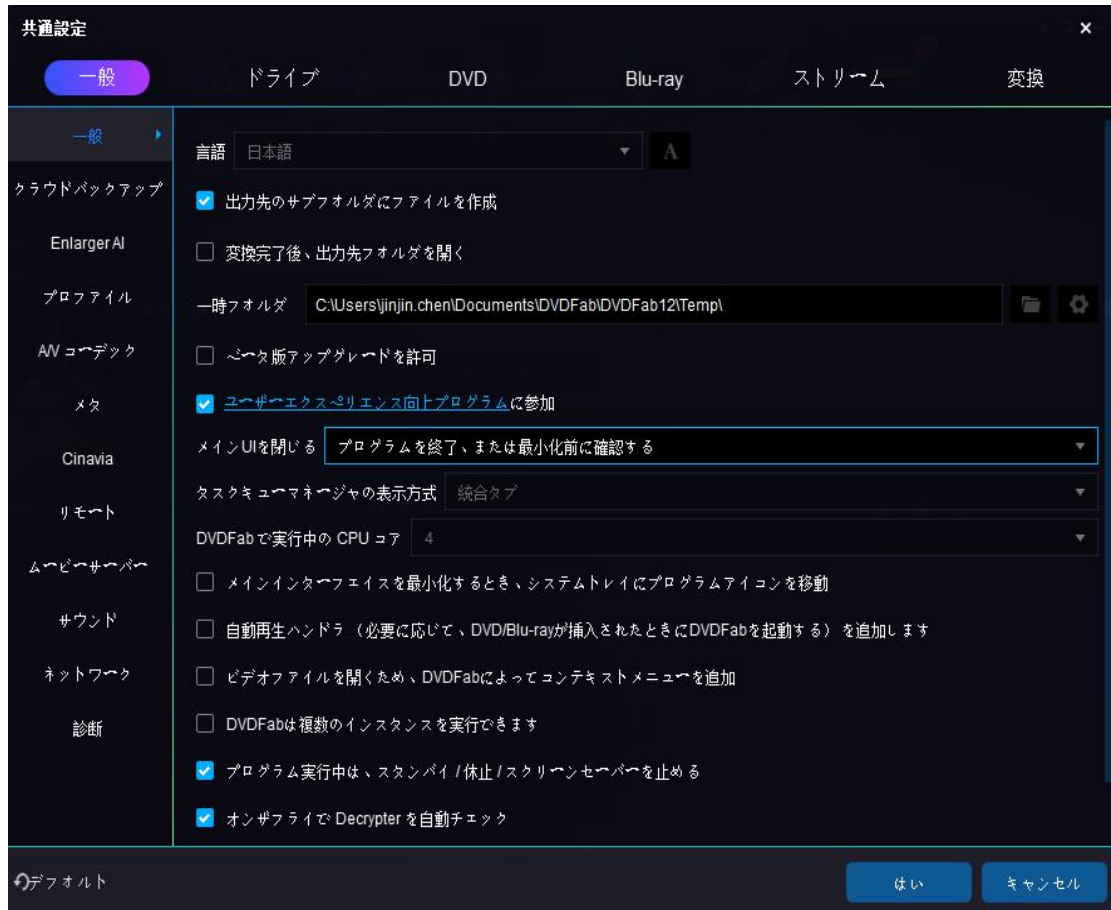
8. 共通設定



メイン画面の右上隅にある逆三角形のアイコンをクリックして、「共通設定」を選択すると、「共通設定」画面が表示されます。

8.1 一般

多くの基本的な設定が出来ます。



8.1.1 一般

言語：表示言語又は慣れた言語を選択します。

出力先のサブフォルダにファイルを作成：タスクが完了したら、出力先に出力ファイルを含むサブフォルダを自動的に作成します。例えば、DVD を MP4 にリッピングする場合、作成した Video フォルダの中に、DVD タイトルで命名されたサブフォルダが作成されました。

変換完了後、出力先フォルダを開く：タスクが終了した後、出力ファイルの保存フォルダーを自動的に開きます。

一時フォルダ：DVDFab が各タスクを行う時、作成した一時ファイルを保存する場所です。

ベータ版アップグレードを許可：この機能により、ベータ版が利用可能になります。

ユーザーエクスペリエンス向上プログラムに参加：ユーザーは、当機能を有効にするかどうかを決定出来ます。弊社の製品をより良くするために、こちらはずっとユーザーからのご提案、ご意見に応じて製品を改善します。

メイン UI を閉じる：当操作でプログラムをシステムトレイに最小化させて、或いは自体を終了させます。

タスクマネージャの表示方式：タスクマネージャ画面の表示方式を自分で決めます。統合タブは、デフォルトで選択されていますが、別ウィンドウを選択したら、DVDFab を再起動して、「タスクリスト」をクリックすると、トップメニューが付いていない独立のタスクマネージャウィンドウが表示されます。



DVDFab で実行中の CPU コア：DVDFab の実行用に CPU コアの数を設定できて、1 コアから最大 4 コアを設定することができます。

メインインターフェースを最小化するとき、システムレイにプログラムアイコンを移動：メインインターフェースを最小化すると、プログラムがシステムトレイにアイコンで表示されます。

自動再生ハンドラ(必要に応じて、DVD/Blu-ray を挿入された時に DVDFab を起動する)を追加します：この機能を有効にすると、光学ドライブにディスクを挿入する際、DVDFab が自動的に起動して、ディスクにアクセスします。

ビデオソースを開くため、DVDFab によってコンテキストメニューを追加：この機能によって、ローカルディスクのビデオファイルを右クリックすると、DVDFab は、コンテキストメニューに表示されます。

DVDFab は複数のインスタンスを実行できます：このオプションを有効にすることによって、複数の DVDFab を同時に実行することができます。

プログラム実行中は、スタンバイ/休止状態/スクリーンセーバーを止める：タスクのプロセス中、システムが節電モードやスリープモードに変更することを防ぎます。またスクリーンセーバーも動作しなくなります。

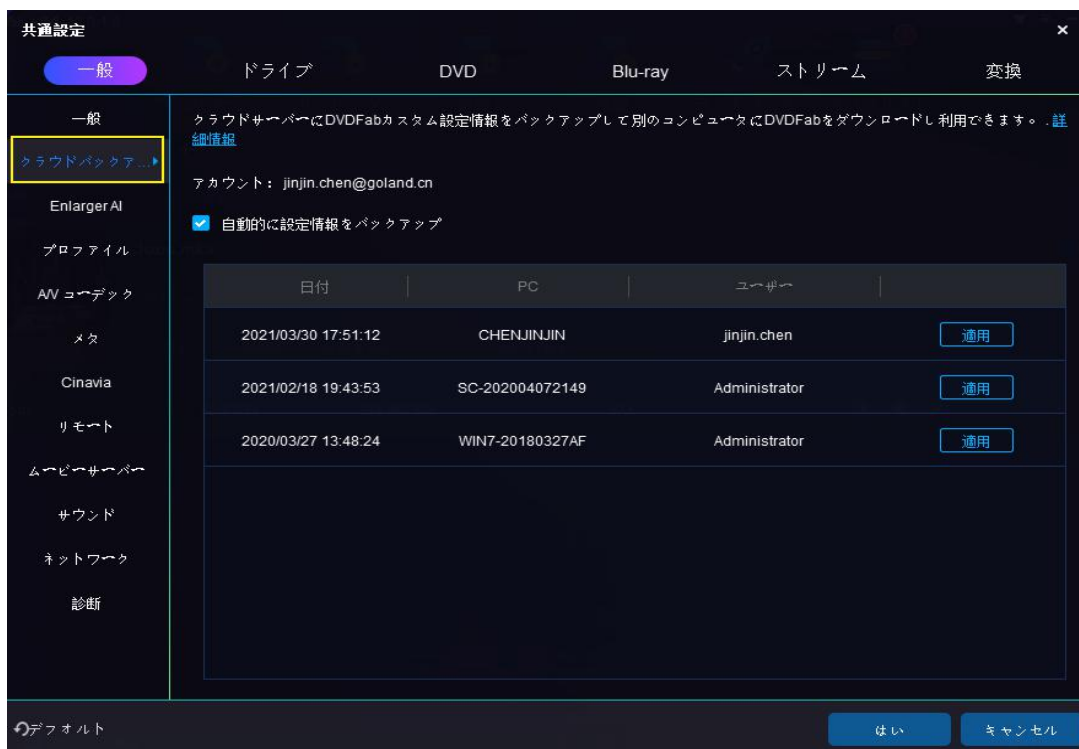
オンザフライで Decrypter を自動チェック：DVDFab は、バックグラウンドで実行している他の解読ソフトウェアを自動的に検出して、それを閉じる通知が表示されます。

DMA をオートチェック：このオプションを有効にすると、DVDFab は、システムが DMA モードに設定されるかどうかを自動的にチェックします。システムが DMA モードではない場合（即ち PIO 転送モードを有効にしている）、光学ドライブとハードディスクに DMA モードに設定させるポップアップウィンドウが出ます。

右側の「DMA をリセットします」ボタンをチェックに入れたら、ユーザーは起動以外の時間で DMA ステータスをチェックできます。システムは時々、特に汚れたディスクや傷がついたディスクを扱った後、PIO モードに切り替わる可能性があります。読み取り/書き込み速度が明らかに低下することによって気づくことが出来ます。この状態で、このボタンをクリックして PC を再起動して、DMA モードが有効になっていることを確認できます。

8.1.2 クラウドバックアップ

DVDFab で行ったカスタム設定がクラウドサーバーにバックアップされます。パソコンを買い替える場合は、新しいパソコンを認証してから、以前のカスタム設定を継承するのを選択できます。



8.1.3 Enlarger AI

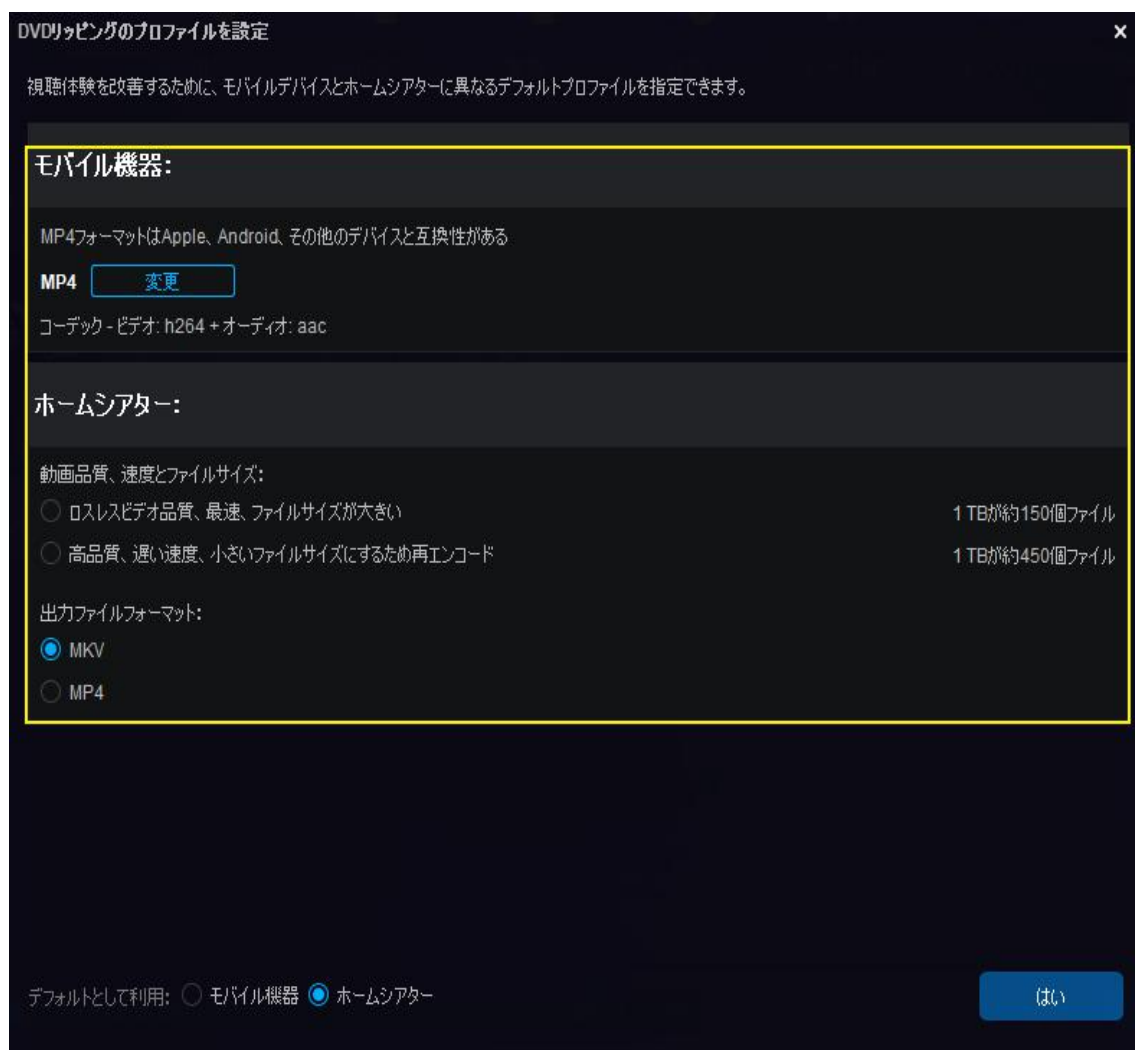
Enlarger AI のハードウェア加速は、CPU または GPU を使用するかを設定することができます。AI 性能をクリックして、お使いのパソコン CPU と GPU はサポートされているかどうかを確認できます。



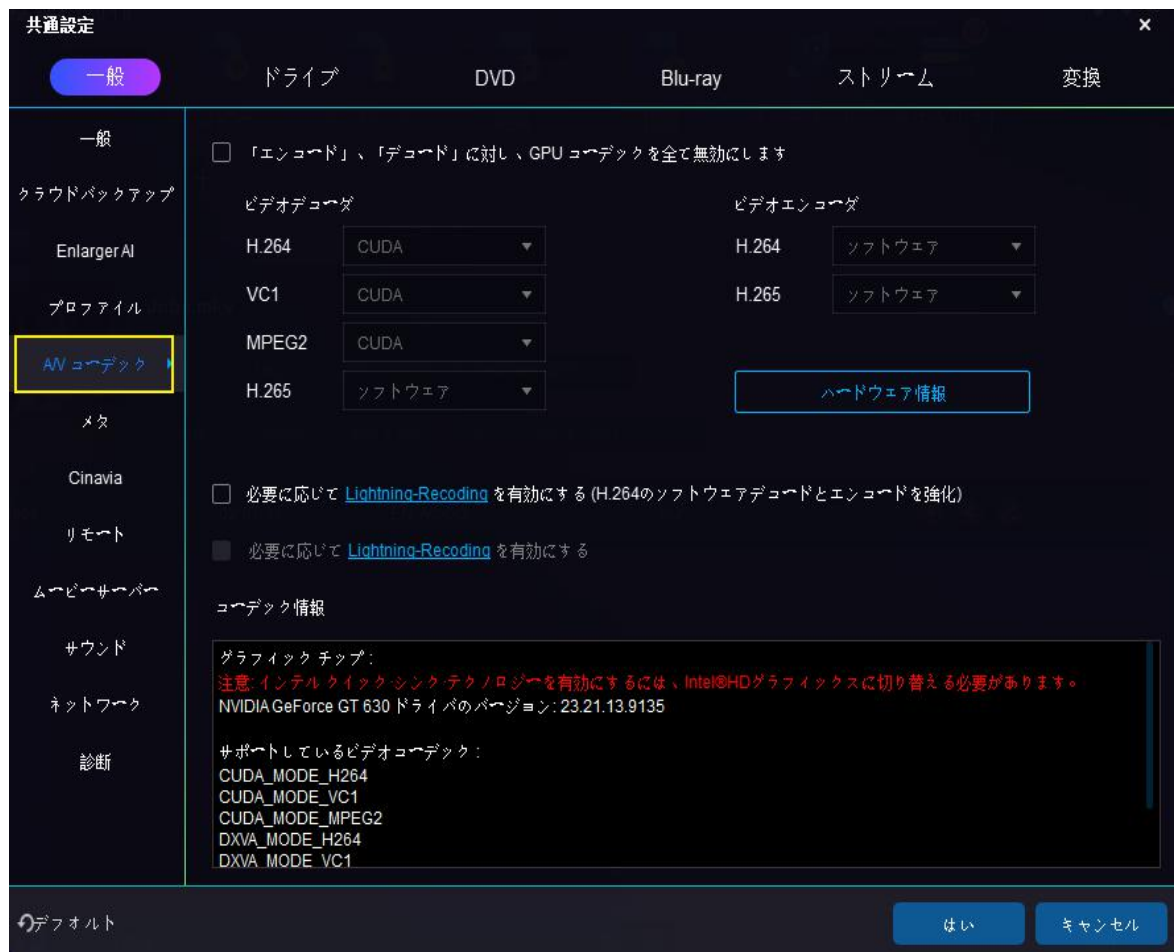
8.1.4 プロファイル



ここで、「リッピング」や「変換」モジュールで出力する MKV/MP4 プロファイルの種類を設定することができます。モバイル機器を選択したら、軽くて互換性の良いビデオやオーディオファイルを出力します。ホームセンターを選択したら、テレビなどに適する無劣化/高品質なビデオやオーディオファイルを出力します。（出力ファイルのサイズが大きい。）
どの種類のプロファイルをデフォルトで使用するのか、事前に設定することができます。



8.1.5 A/V コーデック



このページの設定は、異なるソース（H. 264 / VC1 / MPEG2）に適用されるビデオデコーダとエンコーダに関します。

「エンコード」、「デコード」に対し、GPU コーデックを全て無効にします：自分のコンピュータが十分に強力な場合は、最も信頼できる処理を追求するためにすべての GPU コーデックを無効にすることができます。

ビデオデコーダ： H. 264 ソースの場合、ソフトウェア、CUDA、DXVA、AMD APP、Intel Quick Sync およびコア AVC を設定できます。VC1 と MPEG2 ソースの場合、ソフトウェア、CUDA、DXVA、AMD APP、および Intel Quick Sync を設定できます。H. 265 ビデオソースの場合、ソフトウェア、CUDA、Intel Quick Sync のみを設定できます。

ビデオエンコーダ：事前定義されたアルゴリズムでエンコード、或いは保存又は転送の為にオーディオまたはビデオデータを圧縮するプログラムです。現在、H. 264 と H. 265 ソースの場合、ソフトウェア、CUDA と Intel Quick Sync を設定できます。

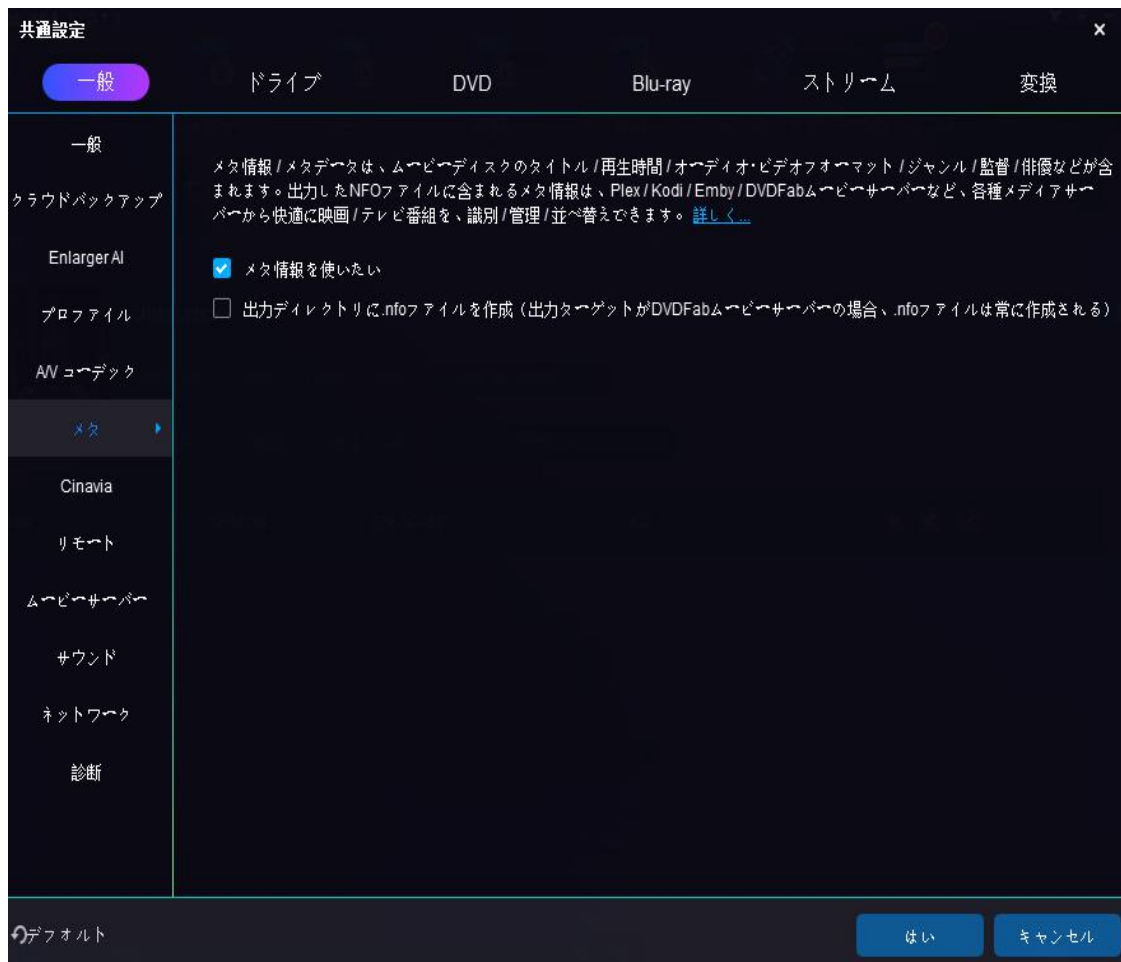
必要に応じて Lightning-Recoding を有効にする（H.264 ソフトウェア「デコード」と「エンコード」を強化）：Lightning-Recoding は、DVDFab が自社開発された技術として、Blu-ray フルディスクコピーとメインムービーコピーモードに使用され、H264 ビデオを圧縮する場合に変換速度を大幅に向上させます。

ご注意：GPU 加速と Lightning-Recoding は同時的に使用出来ません。

必要に応じて、Lightning-Shrink を有効にする：DVDFab Lightning-Shrink は、NVIDIA の CUDA ハードウェア加速や Intel Quick Sync の利点を活用して、Blu-ray 映画のリッピングや変換に費やす時間を 1 時間以内に短縮します。

コーデック情報：ここでグラフィックチップセット機能とシステムがサポートするビデオコーデックを表示します。

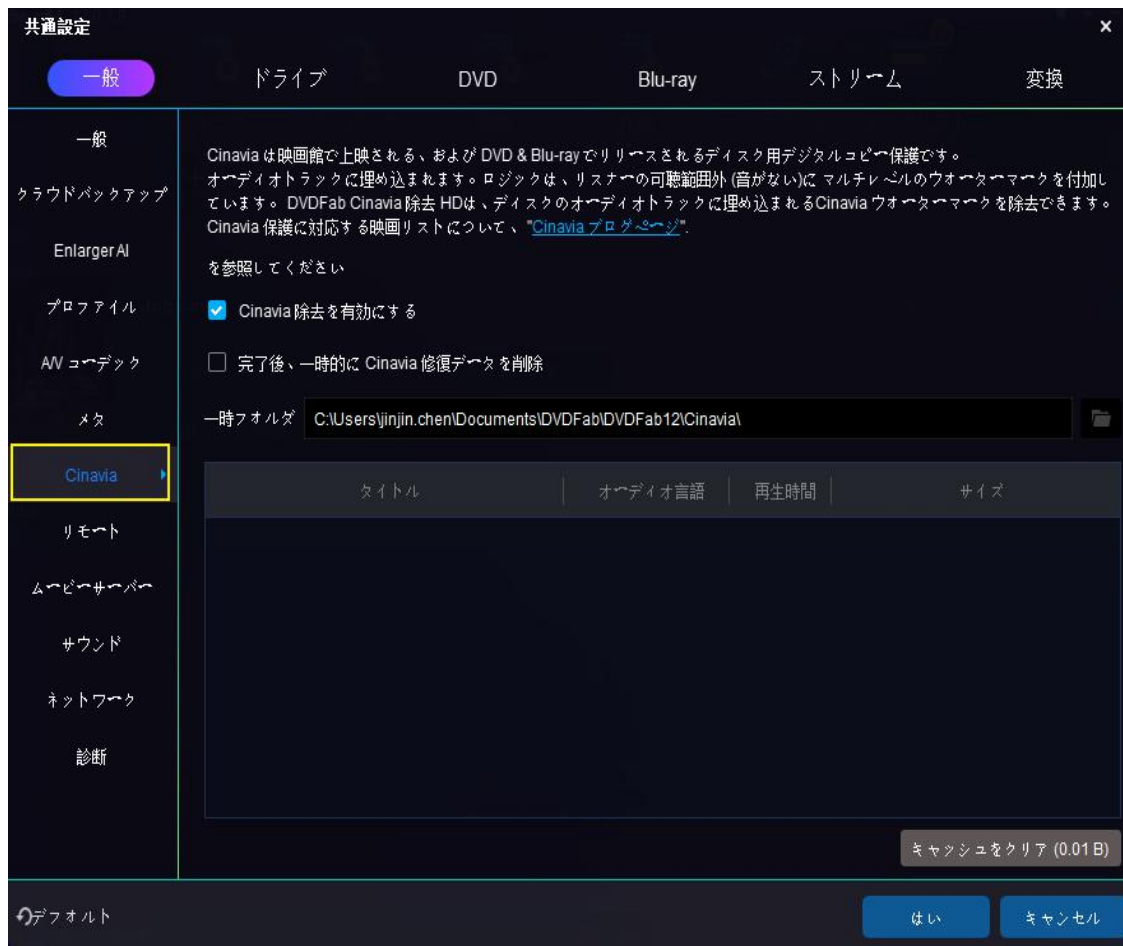
8.1.6 メタ



メタ情報は 2 つ DVDFab Blu-ray 関連製品（Blu-ray コピーと Blu-ray リッピング）に採用された機能です。この機能の主な目的はタイトル、チャプター、ランタイム、オーディオ、字幕などを含む全ての Blu-ray 関連メタ情報を集めるということです。DVDFab ユーザーが DVDFab クライアントを介して手動で編集やアップロードできます。ユーザー

がメタ情報の提供者になりたい場合ここにある 2 つのオプションをチェックする必要があります。

8.1.7 Cinavia



Cinavia は、劇場映画、DVD と Blu-ray ディスクにかかった保護です。これは、オーディオトラックに埋め込まれたマルチレベルのウォーターマークで構成されて、理論的に視聴者が聞き取れないはずですが、再圧縮、アナログ再生&録音、リサンプリング、限られたピッチシフトなどのオーディオストリームのさまざまな変換を禁止します。ベースレベルはアナログですが、トップレベルには再生環境に関する制限が含まれたウォーターマークペイロードがあります。

DVDFab は、DVD と Blu-ray の両方に対する永久かつ完全な Cinavia 除去ソリューションを提供します。当 Cinavia 除去ソリューションは現在の市場で利用可能な最高のソリューションで、DVD Cinavia 除去と Blu-ray Cinavia 除去を含みます。DVD Cinavia 除去は DVD コピーの場合、メインムービーモードだけで使用可能ですが、Blu-ray Cinavia 除去は Blu-ray コピー、Blu-ray リッピング或いはブルーレイ DVD 変換と組み合わせて使用可能で、それに Blu-ray コピーの場合、メインムービーモードだけで使用出来ます。

新しくリリースされた DVD および Blu-ray タイトルに Cinavia ウォーターマークが埋め込まれた可能性が高く、DVDFab はサポートするタイトルを絶えず更新する必要があります。DVDFab はできるだけ早く新しい Cinavia 保護がかかったタイトルをサポートできるようになります。

Cinavia 除去を有効にする：DVD や Blu-ray にかかった Cinavia 保護を解除するには、まず当該機能を有効にする必要があります。そうしないと、DVDFab はディスクに Cinavia 保護がかかったかどうかを検出できません。このオプションを有効にする場合、Cinavia により保護されたディスクを検出すると、DVDFab が下記のような警告をポップアップします。



完了後、一時の Cinavia 修復データを削除：Cinavia の解除する過程で、DVDFab が DVDFab サーバーから Cinavia 修復データをダウンロードして、ユーザーのハードドライブに保存します。当オプションを有効にすれば、Cinavia 保護を解除した後、DVDFab が自動的に修復データを消します。当オプションを無効にすれば、修復データがユーザーのハードドライブに保存されて、急速にハードドライブの空き領域を占めます。

一時フォルダ：DVDFab は、Cinavia 修復データをユーザーのハードドライブに保存する場所です。パスをリセットすることができ、ユーザーは手動で修復データを削除してフォルダを空にすることもできます。

詳しい情報：<http://blog.dvdfab.cn/ja/?p=60>

サポートしたタイトルをここでチェックしてください（常に更新されています）：

<http://blog.dvdfab.cn/ja/?p=60>

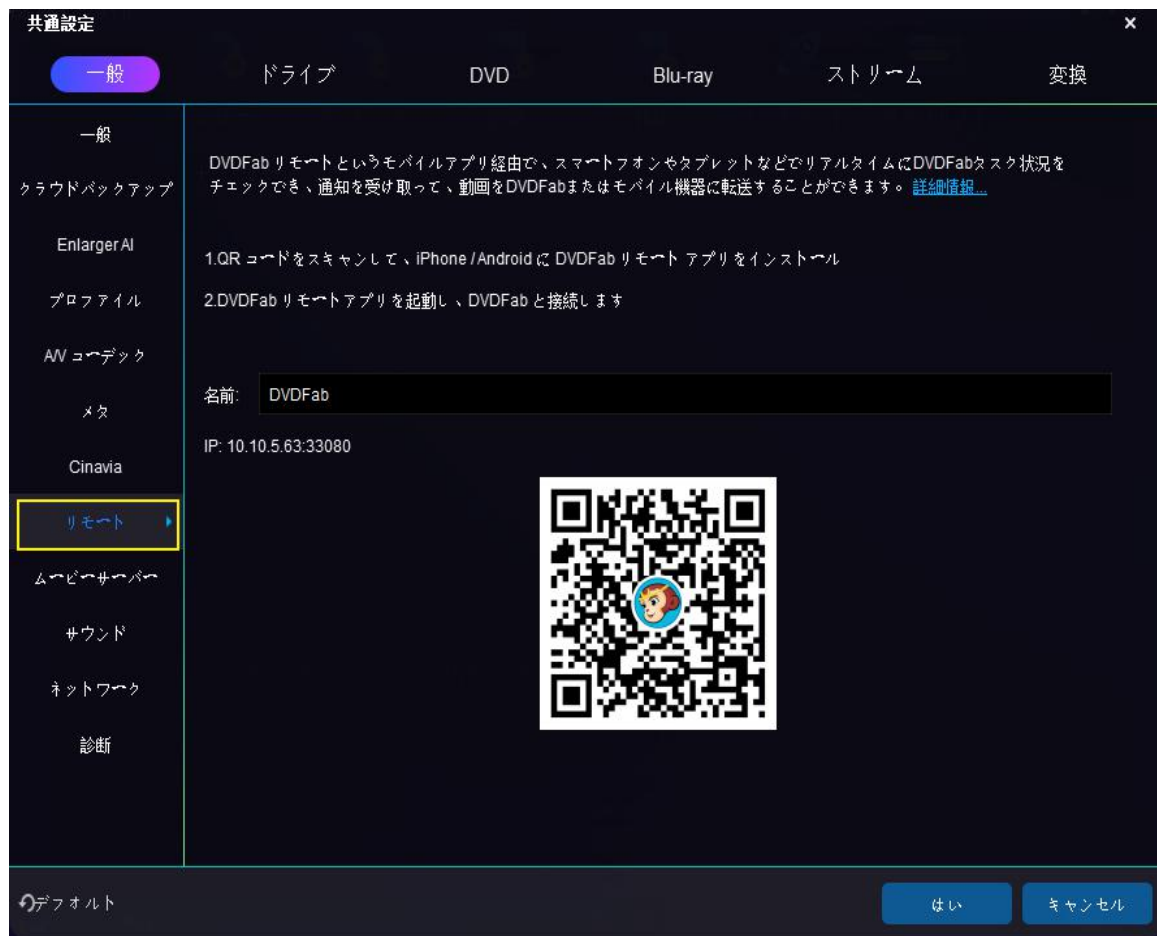
DVD に埋め込まれた Cinavia を解除する方法：

<http://ja.dvdfab.cn/dvd-cinavia-removal.htm>

Blu-ray に埋め込まれた Cinavia を解除する方法：

<http://ja.dvdfab.cn/blu-ray-cinavia-removal.htm>

8.1.8 リモート

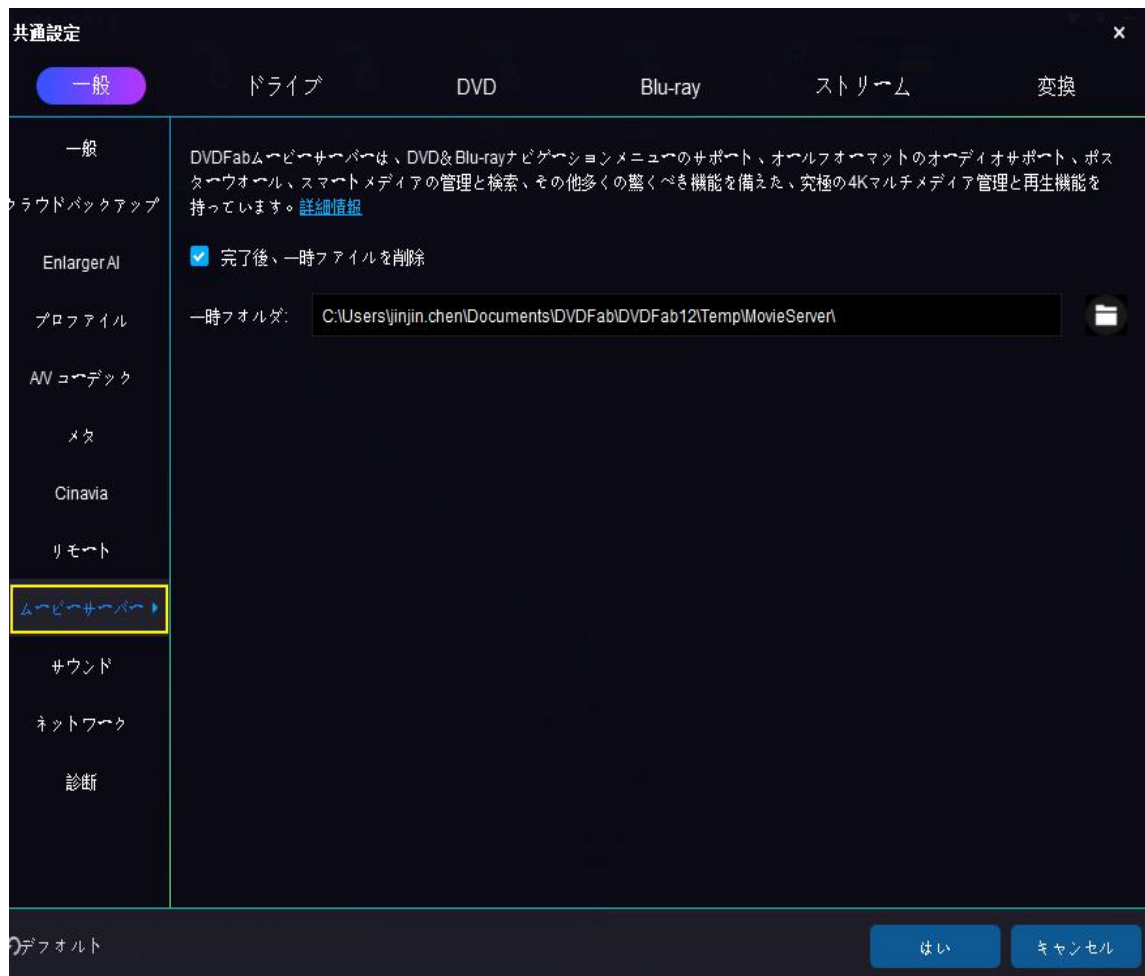


DVDFab リモートは、iOS と Android の両方のプラットフォームで動作するモバイルアプリケーションです。この便利なモバイルアプリによって、ユーザーがパソコンの前にタスク終了までずっと監視する必要がない、DVDFab クライアントからタスクステータス情報を適時に監視出来ます。このモバイルアプリケーションについては、第 10 章でさらに説明します。

8.1.9 ムービーサーバー

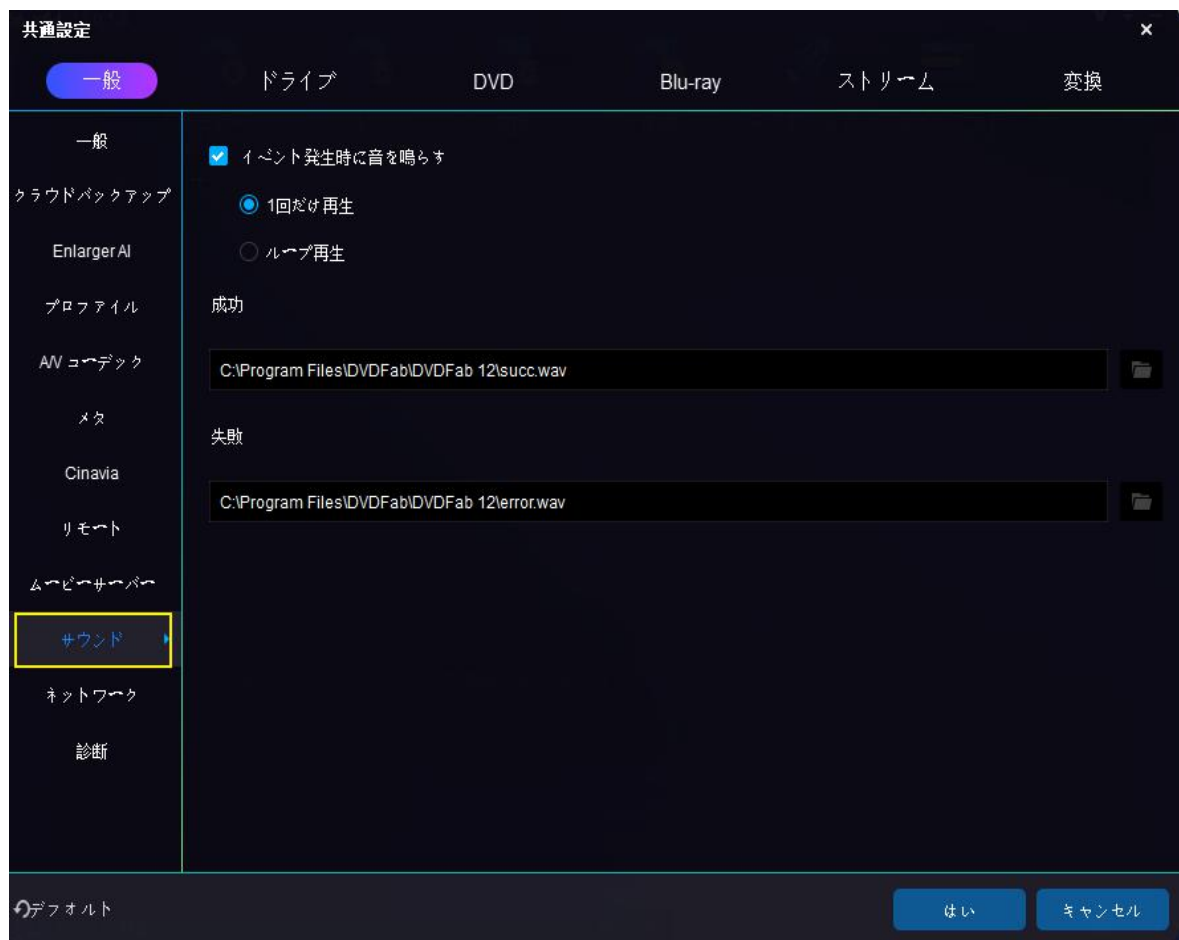
ムービーサーバーは、自宅でのマルチメディアコンテンツの究極の管理および再生ソリューションです。DVD、Blu-ray、4K Ultra HD Blu-ray のネイティブナビゲーションメニュー、ライブラリの作成、ポスターウォールやメタ情報の表示、スマートメディア管理と検索、ネイティブ HDR10 対応など多くの機能をサポートします。

このオプションでムービーサーバーが作成した一時フォルダの保存先を設定することができます。



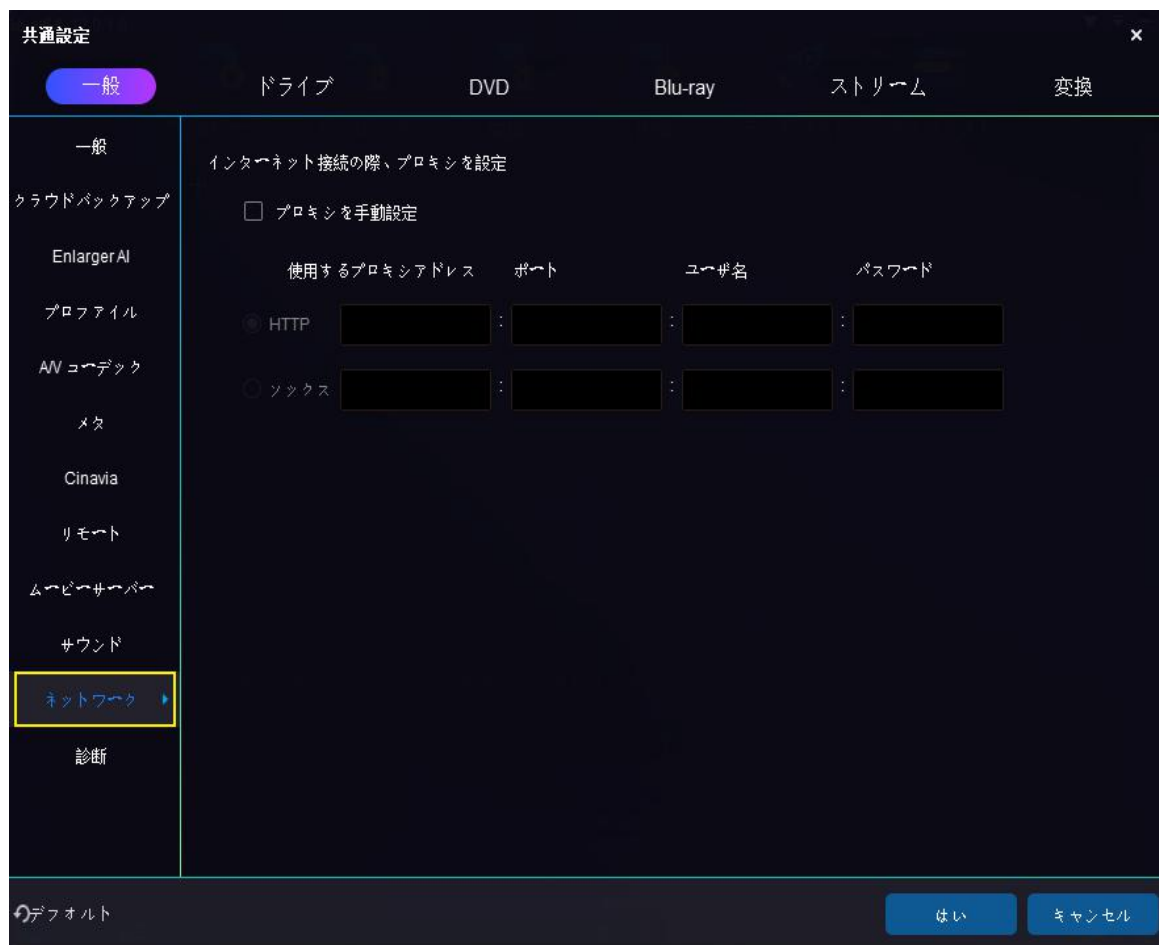
8.1.91 サウンド

イベント、タスクの成功、失敗のいずれかが発生した場合に警告するために、好きなサウンドを選択します。



8.1.92 ネットワーク

インターネット接続の際、プロキシを設定：インターネットに直接接続して、またはプロキシを手動で設定します。



8.1.193 診断

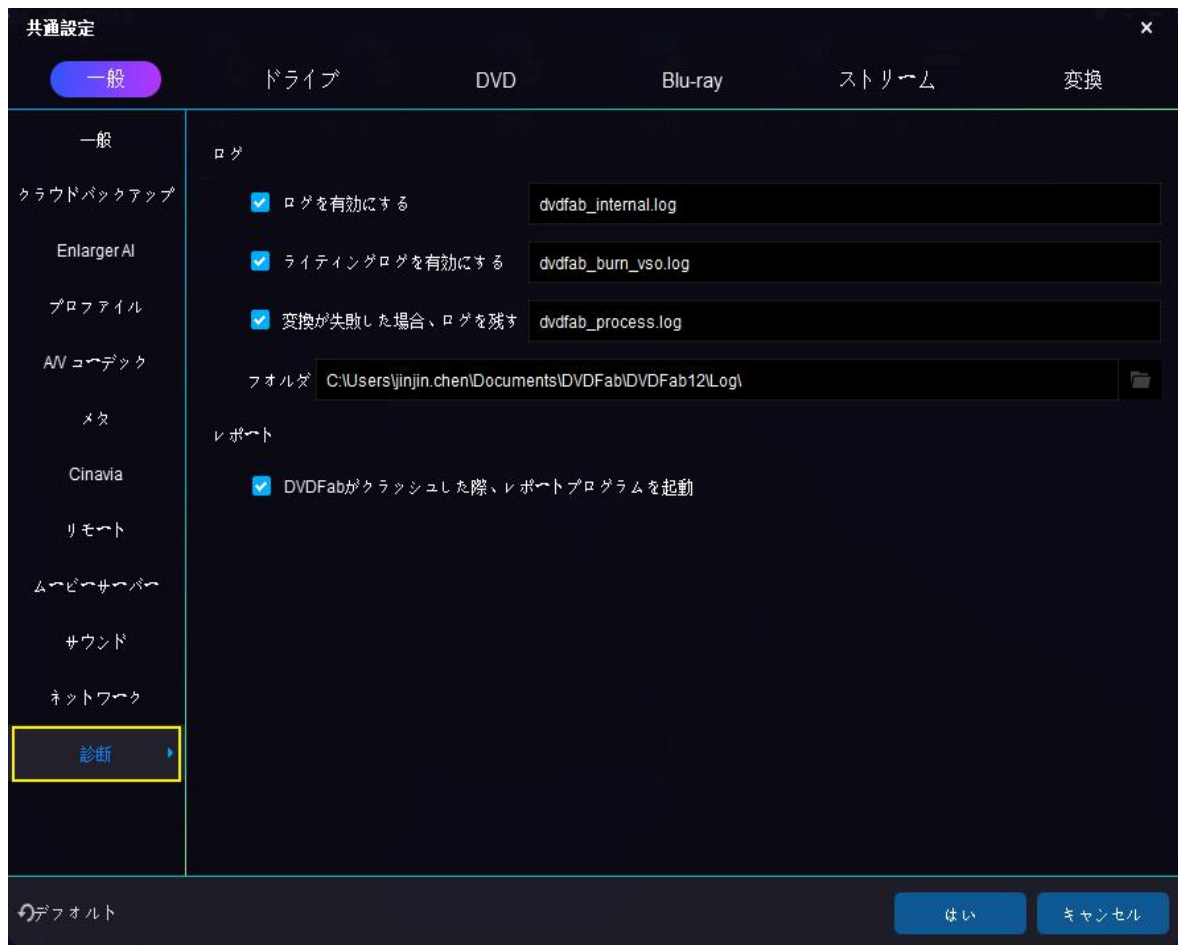
ログ：これらのファイルは DVDFab サービスチームや開発者が問題を解決するための重要な情報を提供できます。それで、問題が生じる際、要求に応じてログファイルを保存して送ってください。

dvdFab_internal.log：全ての問題に適用します。一番下に最新日付の情報または関連情報だけを保存してください。

dvdFab_burn_vso.log：全ての問題に適用します。一番上に最新日付の情報が表示されます。

dvdFab_process.log：DVDFab がクラッシュして、クラッシュレポートウィンドウが正しく表示されない際、または内部のエラーコードが DVDFab ウィンドウに表示される際（例えば、タスクが失敗しました…）に必要な log ファイルです。一番下に最新日付の情報が表示されます。

フォルダ：上記のログファイルを保存するローカル HDD のディレクトリ/パスです。後ろのボタンをクリックして、HDD に保存する場所を変更できます。



DVDFab ログファイルのデフォルトの保存場所：

Win10 -- C:\Users\User Name\Documents\DVDFab\DVDFab12\Log

Win7 -- C:\Users\UserName\Documents\DVDFab\DVDFab12\Log

Vista -- C:\Users\UserName\Documents\DVDFab\DVDFab12\Log

XP -- C:\Documents and Settings\User Name\My Documents\DVDFab\Log

レポート：このオプションを有効にすると、DVDFab はクラッシュする際、下のようなウィンドウをポップアップします。

レポート - 情報

DVDFab 問題が発生しました、プログラムは終了します。ご迷惑をおかけして申し訳ございません。

DVDFab をより良い製品にするためご協力ください。下記に情報をお書き込みいただき「送る」ボタンで送信してください。

氏名 (任意):

メールアドレス (任意):

国家 (任意):

購入/ダウンロードリンク (任意):

追加情報 (任意):

このレポートの内容を確認するには、ここをクリックしてください

送信 保存 閉じる

8.2 ドライブ

8.2.1 ドライブ

処理ドライブを指定できます。

共通設定

一般

ドライブ

DVD

Blu-ray

ストリーム

変換

ドライブ

読み込み

DVD ライティング

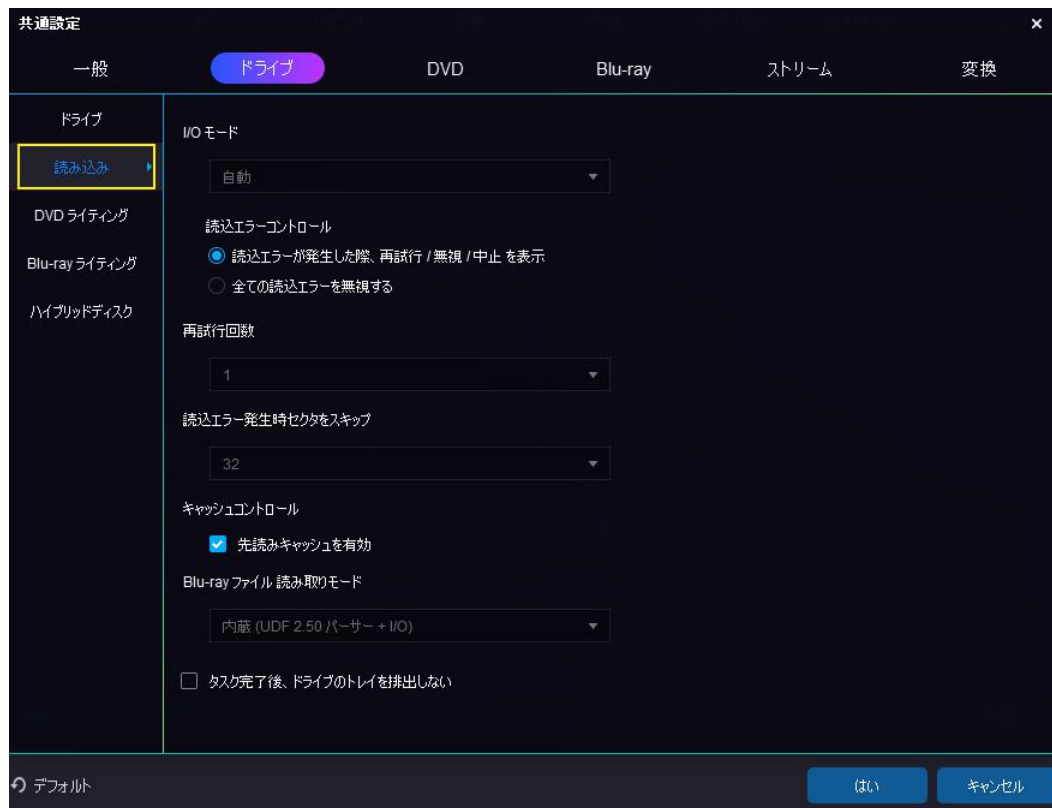
Blu-ray ライティング

ハイブリッドディスク

使用ドライブを選択

デバイス	バージョン	シリアルナンバー
<input checked="" type="checkbox"/> MATSHITA BD-MLT UJ260AF	1.00	WQ00 031954

8.2.2 読み込み



I/O モード：自動、ASPI、SPTI 及び Passkey の 4 つを選択可能です。一般的に、自動モードを推奨します。読み込みエラーが発生する際、必要に応じてモードを変更してください。

読み込みエラーコントロール：

読み込みエラーが発生した際、再試行・無視・中止を表示：このオプションを有効化すると、システムはポップアップウィンドウにより読み込みエラーの解決策を質問します。

全ての読み込みエラーを無視：このオプションにチェックを入れる、システムは読み込みエラーを無視し、上記のメッセージも表示しません。

再試行回数：光学ドライブの読み込みエラーが出る際、再試行回数を指定します。再試行回数は最大 10 回に設定できます。

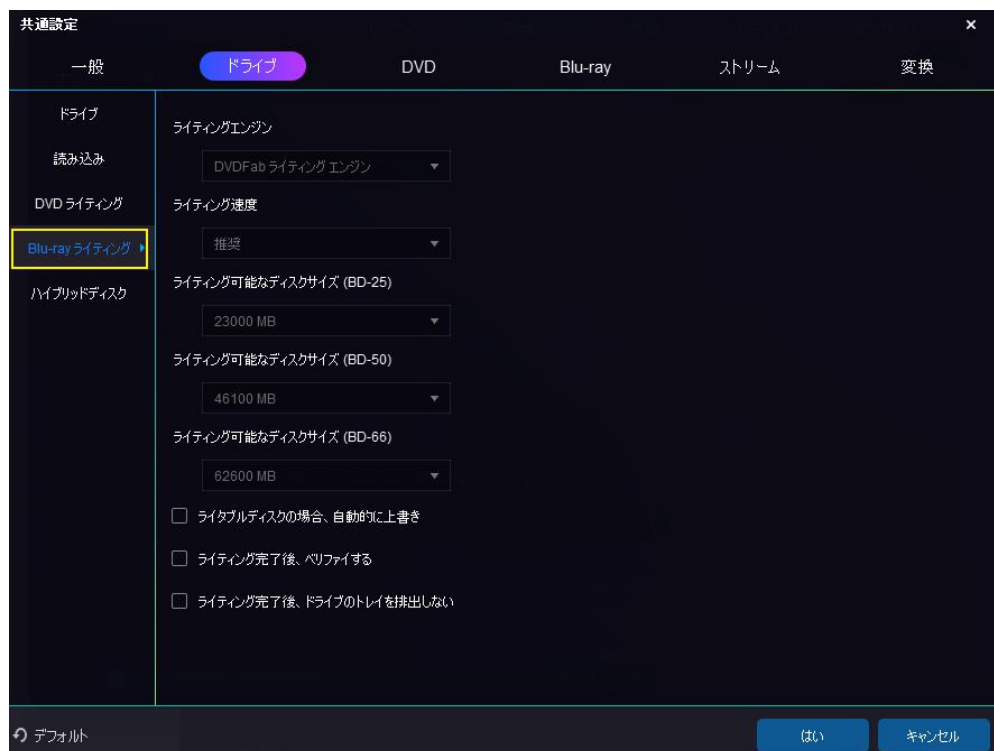
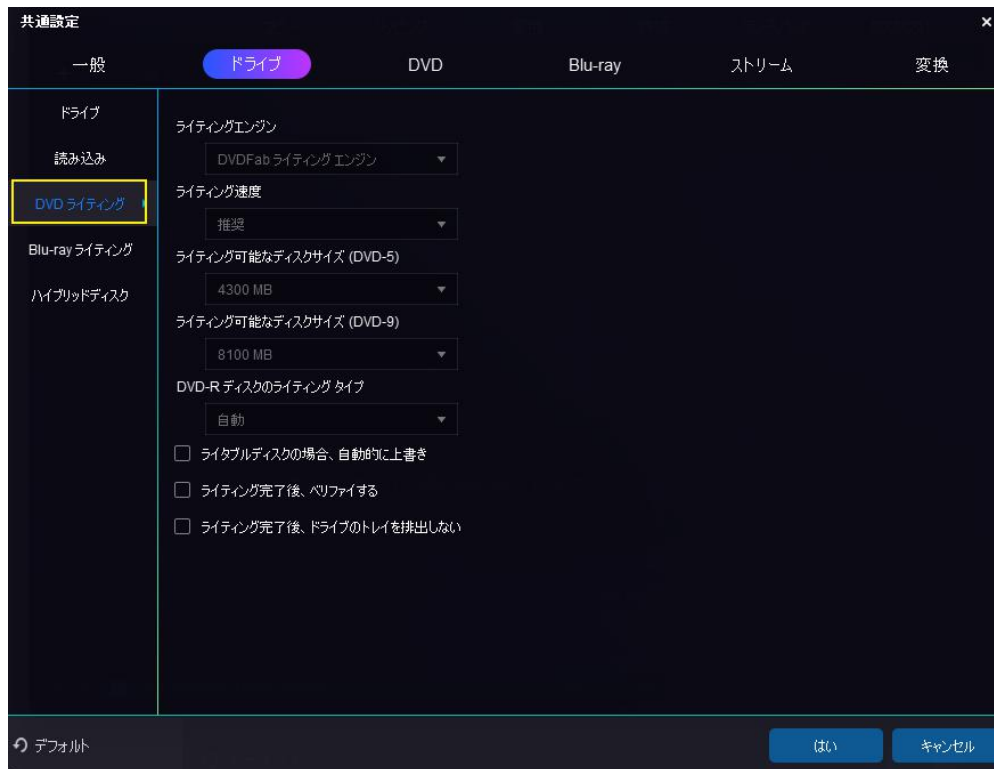
読み込みエラー発生時スキップ：ひどくダメージを受けた DVD/Blu-ray ディスクを読み込む際、処理できないエラーが出たら、ソースディスクのセクタをスキップすることができます。スキップするセクタ数は最大 64 回に設定できます。

キャッシュコントロール：DVDFab に開発された最適化のソース読み込みメカニズムとして、ドライブの読み込みとデータの書き込みの効率を大きく向上させます。

Blu-ray/ファイル読み取りモード：DVDFab Blu-ray コピーは内蔵の UDF 2.50 パーサーを搭載して、Blu-ray ディスクの読み込みをでき、別のドライブを挿入する必要がありません。

タスク完了後、ドライブのトレイを排出しない：コピータスクが完了すると、システムは自動的にオリジナル・ディスクを排出します。ソースをドライブに置いたままにしたいなら、このオプションにチェックを入れてください。

8.2.3 DVD/Blu-ray ライティング



ライティングエンジン：DVD Fab ライティングエンジン、VSO ライティングエンジン、Nero Burn ROM または Imgburn に設定可能です。ご注意：Nero Burn ROM を Blu-ray のライティングエンジンとして設定できません。

ライティング速度：ライティングドライブとブランクディスクの性能に応じて、適当なライティング速度を選択してください。ご注意：ライティング速度を遅くすればするほど、焼いたディスクの品質がよくなります。

DVD/Blu-ray ライティング可能なディスクサイズ：DVD-5 の推薦サイズが 4300 MB で、DVD-9 のほうが 8100 MB です。BD-25 の推薦サイズが 23000 MB で、BD-50 のほうが 43000 MB です。また、ユーザーはサイズをカスタマイズできます。ご注意：ディスク容量エッジに接して焼いたら、再生際の問題が増えます。

DVD-R ディスクのライティングタイプ：3 つのオプションを利用可能です。自動、SAO ライティングとパケットライティング。「自動」を選択したら、ライティングエンジンがデータのライティング方法を決めます。「SAO ライティング」を選択したら、ライティングエンジンはソースのセクターを 1 つずつコピーして、生成した結合情報が 13MB のメモリーを占めます。「パケットライティング」を選択したら、ライティングエンジンは 1 回でソースディスクの全体をライティングして、ライティング速度が速くて、「SAO ライティング」オプションと比べて、スペースの利用率が高いです。

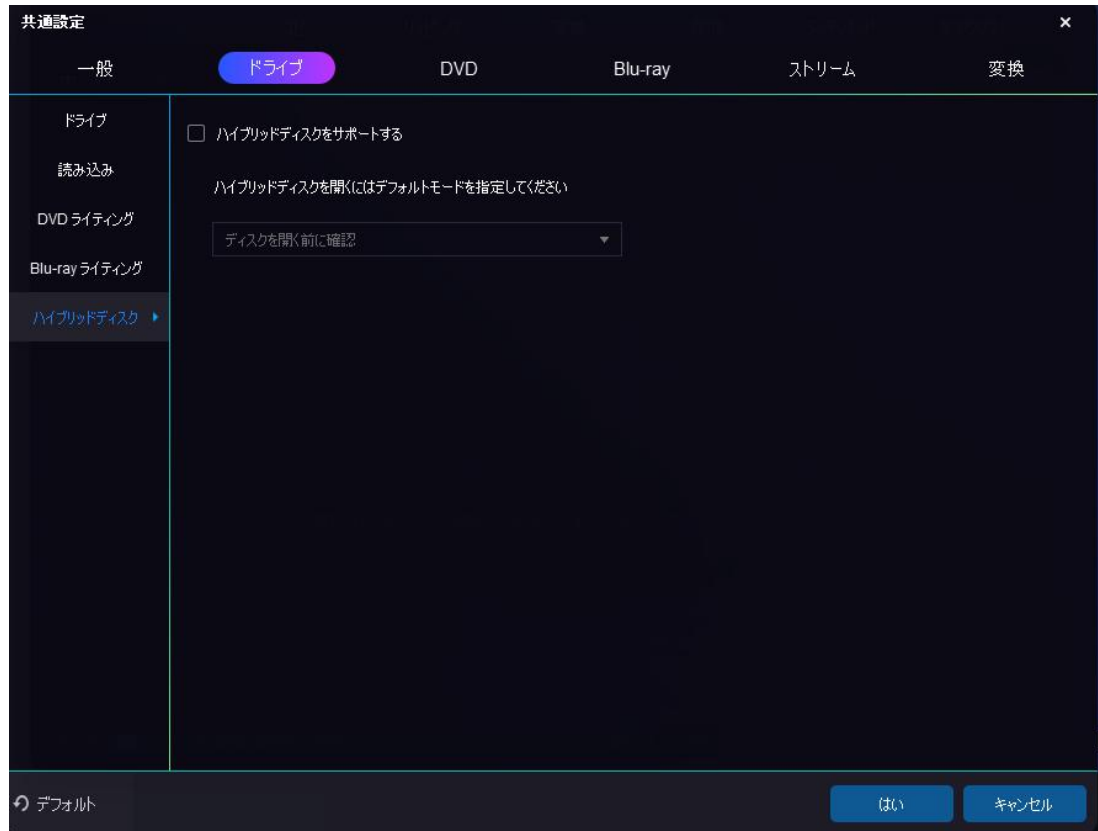
ライタブルディスクの場合、自動的に上書き：このオプションを有効すると、システムはライタブルディスクを自動的に上書きします。

ライティング完了後、ベリファイする：この付加機能によりディスクの書き込み状況を検査できます。

ライティング完了後、ドライブのトレイを排出しない：コピータスクが完了すると、システムは自動的にオリジナルディスクを排出します。ソースをドライブに置いたままにしたいなら、このオプションにチェックを入れてください。

DVD-ROM 化 (DVD+R/RW メディアのみ)：一部のスタンドアロンプレーヤーは DVD-ROM と相性が良いです。このオプションを有効すると、出力ディスクの互換性を高めることができます。ご注意：全てのドライブはこの機能をサポートするわけではありません。

8.2.4 ハイブリッドディスク



理論的にハイブリッドディスクは:

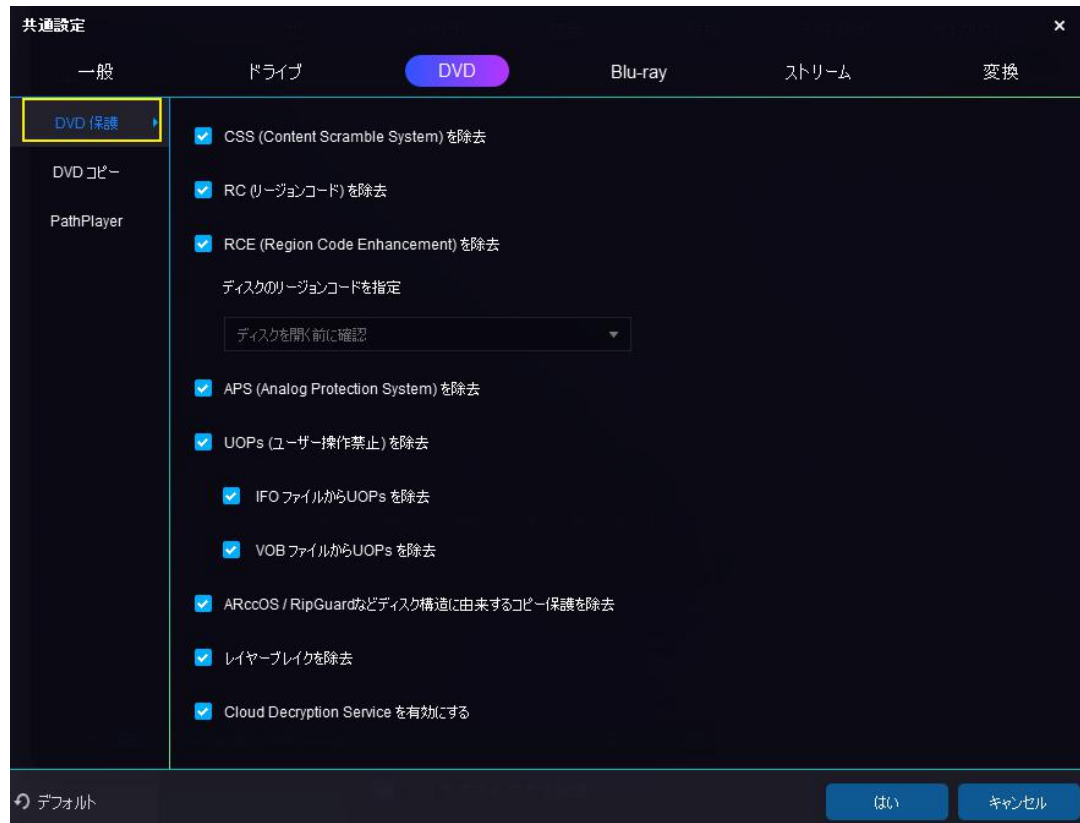
- 1). DVD-ビデオと DVD-オーディオ又は SACD コンテンツを同時に含むディスクです。
(もっと正確に言えば、万能又は AV DVD と呼べます。標準 DVD-オーディオがこれをサポートします。標準 SACD はビデオに対応しないので、SACD プレーヤーは混合な SACD+DVD-ビデオディスクを処理できるかどうか不明です。)この混合ディスクのその他形式は DVD-オーディオと SACD コンテンツを含む、又は三種の形式をすべて含むディスクです。
- 2). 一つのディスクは二層があり、一層は DVD プレーヤーで読みこめ、もう一層は CD プレーヤーで読み取れます。(より正確にレガシーや CD-互換性のあるディスクと呼ばれる。)
- 3). BD レイヤと二つの DVD レイヤを含むディスクで、総容量が 33.5 GB (25 GB + 8.5 GB) です。このディスクはブルーレイディスクアソシエーションにより提供する「ブルーレイディスク、混合フォーマット」の規格に準じます。このディスクは一つのブルーレイレーザーおよび二つの普通 DVD レーザーがあります。ブルーレイと DVD レイヤは半反射フィルムに分けられ、それはブルーライトを反射でき、同時に赤いライトを底部の DVD レイヤに到達させます。

ご注意：特定のドライブのみはハイブリッドディスクの二層の内容をともに読み取れ、またハイブリッドディスクを再生するには、特定のプレーヤーが必要です。

DVDFab はハイブリッドディスクをロードするときに、プリセットを起動するソリューションを提供しております。このソリューションにより、ハイブリッドディスクを入れるとき、DVDFab は自動的にディスクのどの層を識別するかに関するものです (CD、DVD、HD-DVD 又は Blu-ray)。

8.3 DVD

8.3.1 DVD 保護



CSS、RC、RCE、APS、UOPs、ARccOS/RipGuard などディスク構造に由来するコピー保護を除去: DVD ディスクをコピーするには、上記の様々なコピープロテクションが全て除去されます。

UOPs (ユーザー操作禁止) を除去: ビデオ DVD ディスク及び Blu-ray ディスクに使われる使用制限の一種類です。ほとんどの DVD プレイヤーや Blu-ray プレイヤーには UOPs (ユーザー操作禁止) があります。ディスクのあるセクションが UOPs (ユーザー操作禁止) によって保護されたり、制限されたりする場合、DVD プレイヤーや Blu-ray プレイヤーは以上のディスクを再生すると、禁止マークまたは著作権侵害の警告が表示されます。

RCE を除去、ディスクのリージョンコードを指定: 「RCE-Regional Coding Enhancement」を除去するには、ポップアップウィンドウで正しいリージョンコードを選

択する必要があります。普通には、リージョンコードはオリジナル DVD パッケージに書かれています。

レイヤーブレイクを除去：DVD コピーの「メインムービー」、「フルディスク」、「カスタマイズ」、「分割」または「結合」モードで DVD 9 を DVD 5 のブランクディスクに圧縮コピーするには、上記のオプションを有効しなければなりません。DVDFab DVD コピーの「クローン」モードでコピーする場合、DVDFab は上記の設定を無視にしてオリジナルのままレイヤーブレイクを保存します。

Cloud Decryption Service を有効にする：DVD/Blu-ray ディスクの新しい保護を解除するには、Cloud Decryption Service に保存される解読データを読み出し、ソースの読み込みと解読のプロセスを改善して、ユーザーの貴重な時間を節約します。

8.3.2 DVD コピー

下記の設定は DVD コピーのあらゆるコピーモードに適用されます。



Windows Media Center で使用する dvidid.xml を作成：このチェックボックスにより、ユーザーは小さいディスク ID ファイルが出力フォルダと一緒に書き込まれるかどうかを指定できます。このファイルは他のアプリケーションがインターネット上でタイトルのカバーアート及び他の情報を自動的に検索できます。例えば Windows Media Center など。

タイトル分割の設定：お好みによって「可能な限りディスク 1 へタイトルを割り振る」または「可能な限りディスク 2 へタイトルを割り振る」を選択します。

デフォルト CGP:FabCom またはブラックスクリーンを選択してコピーされていないタイトルを取り替えます。

8.3.3 PathPlayer

PathPlayer とは？

PathPlayer の機能で、DVD Fab は実際の DVD 再生機で再生する DVD コンテンツのみをコピーします。この方法では、DVD Fab はコピーガードがかかっている再生不可能のコンテンツを無視にします。

PathPlayer がどのように動作しますか？

PathPlayer が実際の DVD 再生機のように動作します。PathPlayer は DVD 再生機のリモートコントロールで DVD コンテンツにアクセスするように DVD のあらゆる再生パスをフォローします。PathPlayer の動作が完了したら、DVD Fab は実際の DVD 再生機が読み込めるコンテンツを全て読み込めます。コピーガードが再生不可能の DVD コンテンツにかかっていますから、コピーするとき DVD Fab はそれを読みません。

PathPlayer を無効にする：

DVD を開くには、普通には PathPlayer は数分がかかりますから、コピーガードがかかっていないディスクをコピーする場合、時間を節約するには PathPlayer を無効にしてください。

必要に応じて PathPlayer を有効にする：

普通には、DVD を開く際、DVD Fab は PathPlayer を有効にしません。一旦 DVD コピー中に、DVD Fab は読み込みエラーを検索したら、ユーザーに DVD Fab を再起動させ、PathPlayer で DVD を再度開かせます。以上の設定により、DVD Fab は今までどおりに DVD を速く開けます。コピープロセス中に読み込みエラーが頻繁に発生する場合、次のデフォルトオプション（常に PathPlayer を有効にする）で時間を節約できます。



常に PathPlayer を有効にする（デフォルト）：PathPlayer の改善及びスキャン時間の減小によって、これはデフォルトオプションとなります。このオプションにより、DVDFab はオリジナルディスクの詳細情報をチェックできます。そして、より良い、より信頼性の高いバックアップ・コピーができます。もちろん、必要に応じて他の 2 つのオプション（上記）を選択することも出来ます。「フルディスク」モードで「ヘジャンプする」ナビゲーション機能を有効にするには、PathPlayer は必ず有効しなければなりません。

ナビゲーション (DVD メニューを残す必要があり)：この機能によって、ユーザーは DVD の再生順番（トップメニューまたは本編から再生）を決められ、不要な PGC を除去できます。

BOVs (Button Over Video) をスキャン：Button Over Video (BOV) は最近の DVD に良く見られる機能です。基本的には、BOV は本編再生中に表示される特典映像などにジャンプするための「ボタン」を検出するために用意されています。マトリクス of 白いウサギの特徴は良い例です。他には、バンビ 2、スチュアート・リトル 2、スパイダーマンやメン・イン・ブラック 2 があります。

300 秒未満はスキャン：DVDFab は BOVs の小さい VOBSs をスキャンします。VOB ファイルにボタンを含めない部分をスキャンする時間を無駄にしないよう、DVDFab は平均持続時間より小さいセルだけをスキャンします。初期設定では、BOVs にスキャンされるセルの最大持続時間を調整することができます。デフォルト値が「300」ですけど、それは 5 分のセル時間です。

30 VOBUs 毎に VOBUs をスキャン：選択したセル内で 1 VOBUs 毎にあらゆる VOBUs をスキャンします（最も遅いですが一番安全）。セル内の一部の VOBUs をバイパスするには、より高い数値を設定してください。いずれにしても、安全のため、VTS に含まれるあらゆるセルの最初

と最後の VOB がスキャンされます。テストによって、デフォルト設定は 30 で最適です。この設定では、30 VOBs 毎に最初の VOB から最後の VOB までにスキャンします。デフォルト値が「30」ですけど、それは約ビデオの 15 秒です。

1 セル内の BOV をまとめてチェック： このチェックボックスにチェックを入れたら、あるセル内でボタンを 1 つ見つけた場合に、PathPlayer は別の BOVs をチェックします。これはたまに（イースター・エッグのような）特種ディスクで見つかります。このより詳細な分析は余分の時間がかかりますから、PathPlayer の分析を速くするにはデフォルトに設定しません。必要に応じて、このチェックボックスにチェックを入れて以上の機能を有効にすればいいです。

8.4 Blu-ray

8.4.1 Blu-ray 保護

「AACs を除去」、「BD+を除去」「RC を除去」「BD+Live を除去」と「UOPs を除去」オプションの有効を確保してください。そうでなければ、コピーガードが付いているソースディスクにアクセスできません。



AACS(Advanced Access Content System)を除去： Advanced Access Content System (AACS) はコンテンツ配信及びデジタル著作権管理ための規格として、次世代の光ディスクや DVD のコピーやアクセスを制限します。Advanced Access Content System (AACS) は 2005 年 4 月

に正式リリースされ、この規格がすでに HD DVD や Blu-ray ディスク (BD) のアクセス制限方式として採用されています。

BD+ / BD+ファームウェア警告を除去 : BD+は Blu-ray ディスクのデジタル著作権管理システムのコンポーネントで、Cryptography Research Inc の自己防御デジタルコンテンツコンセプトに基づいて開発されました。

RC (リージョンコード) を除去 : Blu-ray ディスクはデジタル的に「リージョンコード」 (A、B または C、場合によって 1、2、または 3 と呼ぶ) で暗号化されます。そして、Blu-ray 再生機のリージョンコードと一致する場合、上記の Blu-ray ディスクが再生できます。

BD-Live を除去 : 一部の BD-Live コンテンツは AACS 保護が付いて、観賞するバックアップディスクは保護を解除されません。

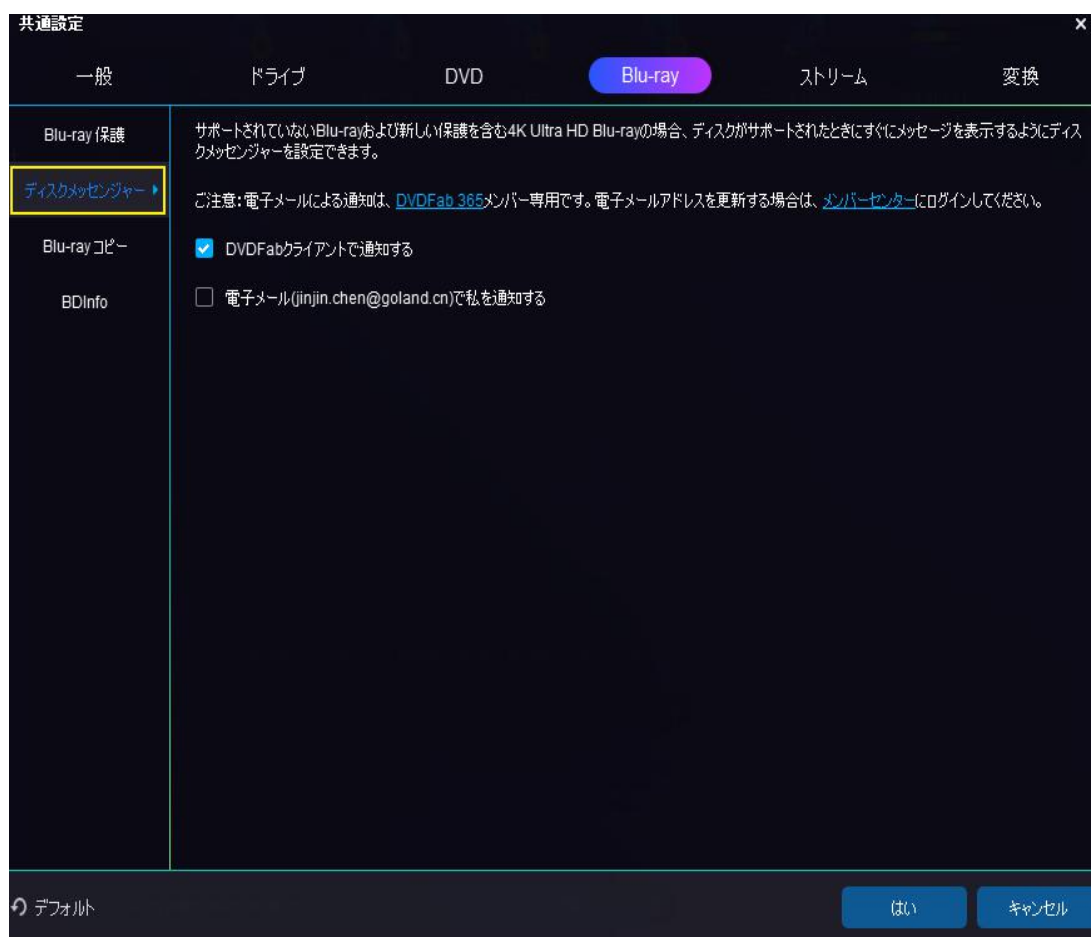
UOPs (ユーザー操作禁止) を除去 : Blu-ray を再生するときの禁止マークまたは著作権侵害の警告を除去します。

CCI (コピー制御情報) を除去 : デジタルテレビのストリームに含まれる 2 バイトのフラグです。それによって、内容の所有者とケーブルテレビの運営商に内容のコピーする方法を指定することができます。CCI は 1998 年に DTCP に 5 C コピープロテクションの一部として考案されますが、後 FCCs Plug の一部として定義され、2003 年に Play agreement の一部になりました。

PS3 アップデートファイルを非表示 : ソースを読み込んだ後、Blu-ray の保護が除去されたので、出力ファイルを再生するには、PS3 のファームウェアを更新する必要がありません。それで、このオプションを有効にすることを推奨します。

8.4.2 ディスクメッセンジャー

サポートされていないコピーガードが付いているブルーレイ/4K UHD Blu-ray に対応できるようになると、すぐにメッセージで通知するオプションです。



8.4.3 Blu-ray コピー



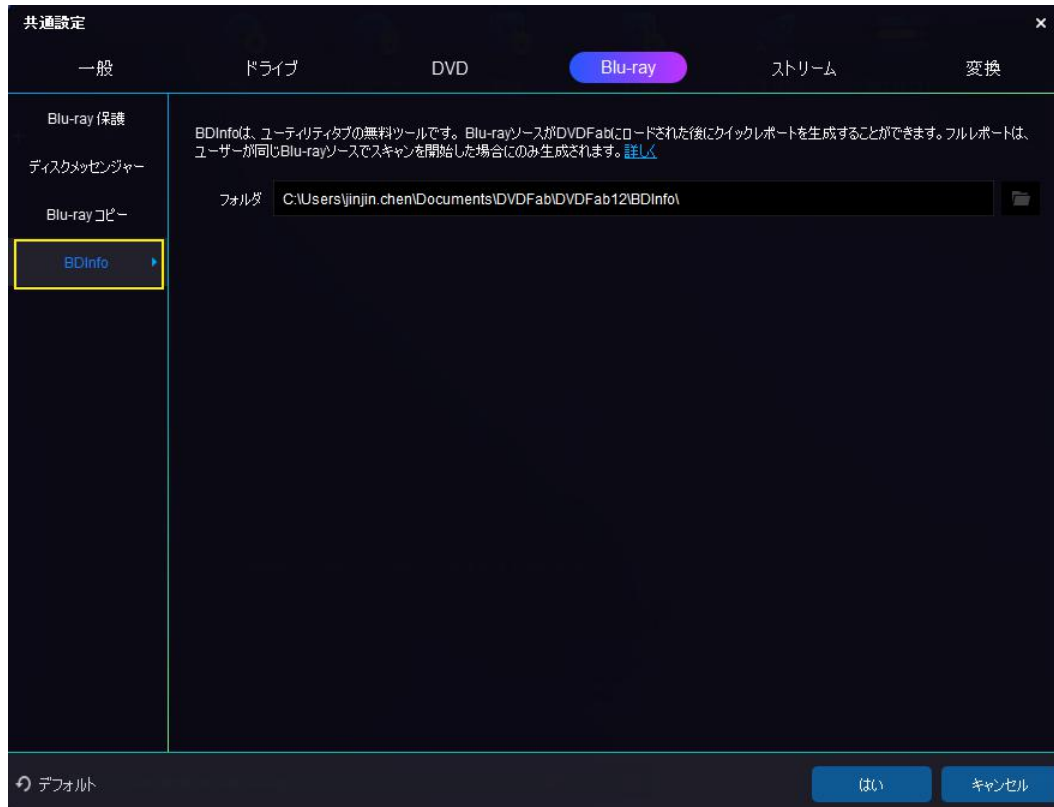
フルスキャン有効：スキャンのロジックはフルディスクの 10% だけをチェックしますから、スキャン結果は非常に正確ではありません。完璧かつ正確な結果を取得したい場合、以上のフルスキャン機能を有効にしてください。

AVCHD (BD5/BD9) 互換性設定：AVCHD 互換フォルダとして出力（証明書フォルダを除く）：スタンドアローンプレイヤーでリッピングしたディスクを再生したら、このラジオボタンを有効にしてください。

PC 上で再生する際に最適な AVCHD フォルダ構成として出力（証明書フォルダを含む）：ソフトウェアプレイヤーでリッピングしたディスクを再生するには、このラジオボタンを有効にしてください。

エンコード設定：お好みによって、高速/標準画質または低速/高画質に設定できます。

8.4.4 Blu-ray Info



Blu-ray 情報はディスクのサイズ、プレイリストの内容、ストリームのコーデックとビットレートの詳細情報などを含めて、Blu-ray ディスクのビデオとオーディオの技術仕様です。

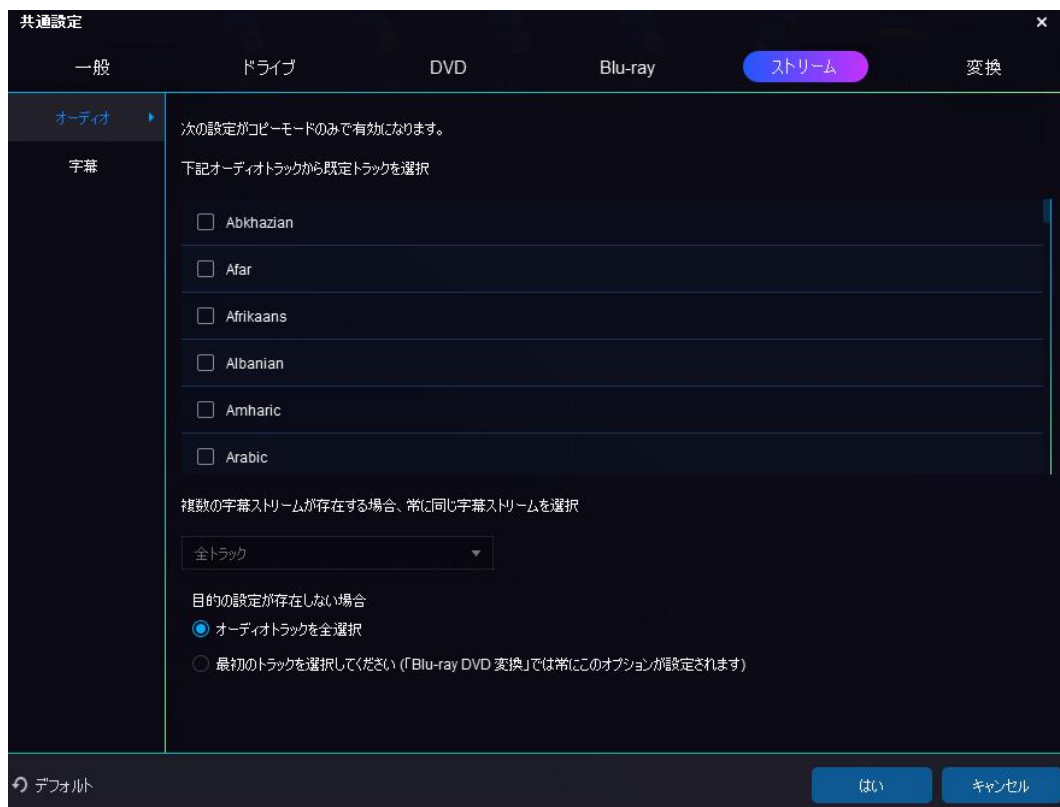
なぜ BDInfo レポートが必要なのですか？

Blu-ray のバックアッププロセスが完了すると、ユーザーはバックアップした Blu-ray タイトルのビデオとオーディオのコーデック、ビットレートなどの詳細情報を知りたい場合があります。サードパーティーツールでそれをチェックできますが、ディスクを解析するには時間がかかるので、ユーザーにとって不便です。DVD Fab BDInfo 機能によって、BD info の収集時間が大幅に短くなります。

8.5 ストリーム

このオプションは、ソースを分析した後、DVD Fab はどうやってオーディオトラックと字幕ストリームを予め選択するかを明らかにします。

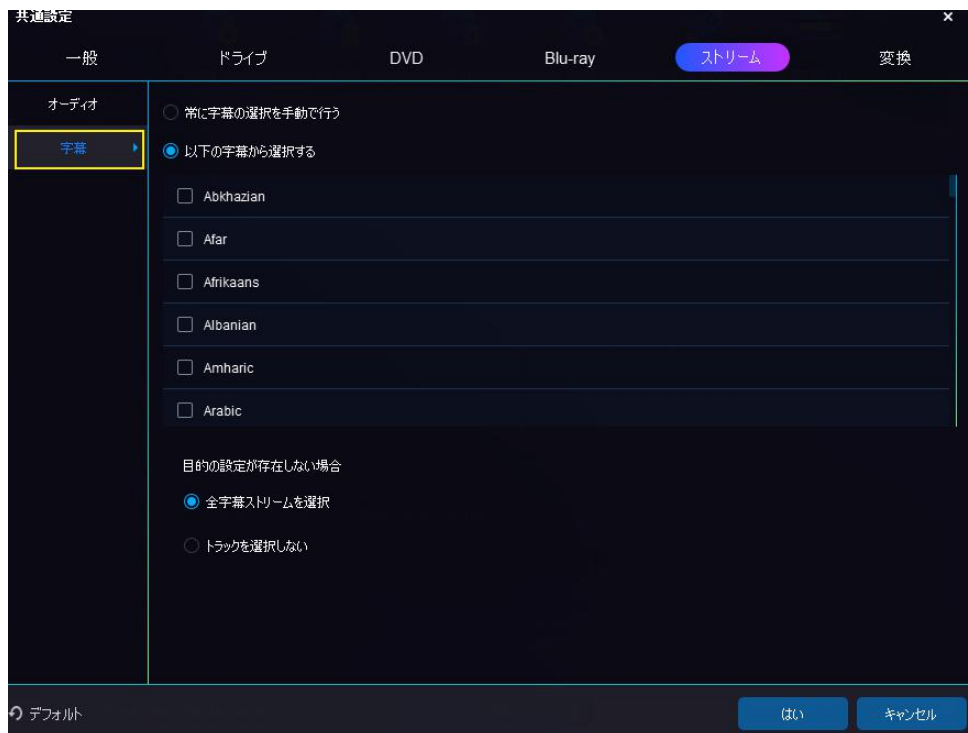
8.5.1 オーディオ



DVDFab は、言語またはオーディオ・フォーマットに基づいて、オーディオトラックを設定することができます。オーディオトラックは DVD ディスクによって異なるので、既定トラックには目的のオーディオを含めることを確認してください。

8.5.2 字幕

特定の言語に基づいて、DVDFab は字幕を予め選択することができます。解説や他のおまけのフィーチャーではなく、映画本編の字幕のみを選択することを確認してください。「以下の字幕から選択する」オプションで予め選択した字幕を変更することができます。また字幕を予め選択したくない場合、字幕画面の一番上におけるオプションにチェックを入れてください。



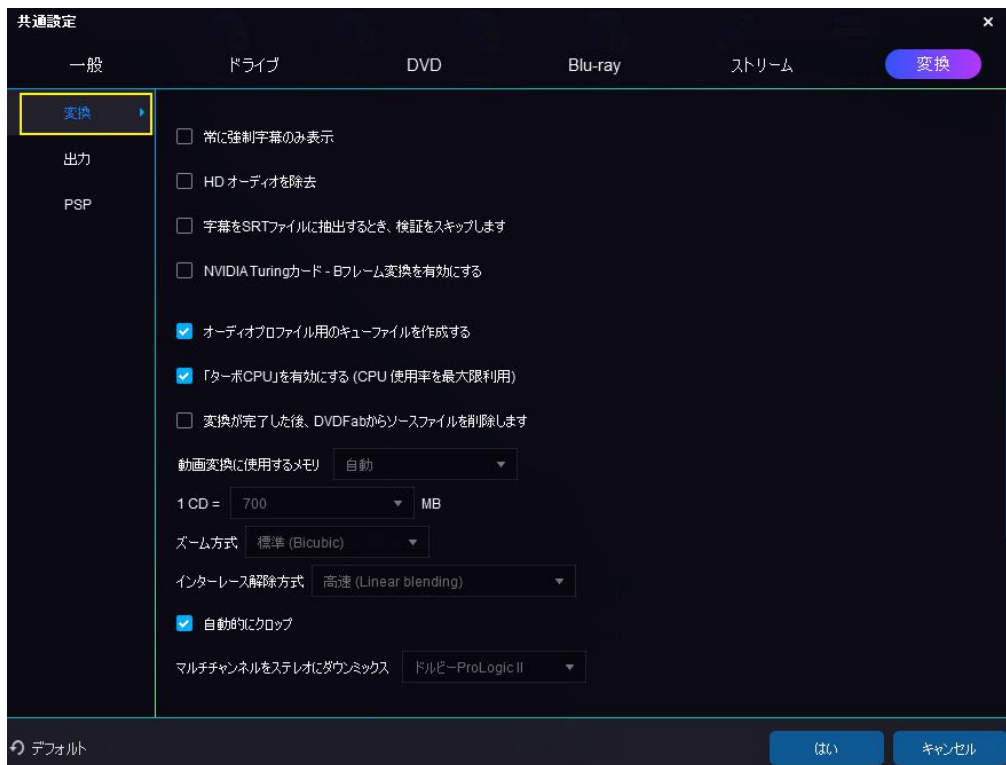
8.6 変換

8.6.1 変換

このページで DVD/Blu-ray リッピングに適用する幾つかの設定を紹介いたします。

常に強制字幕のみ表示: 強制字幕とは、視聴者が理解すべきコミュニケーションや別言語を明確にする画面上に表示されるテキストのことです。また、吹き替えやローカライズされた音声には含まれない会話、文字のグラフィックスや地名・人物の ID などを明確にする際にも使われます。「ターボ CPU」を有効にする (CPU 使用率を最大限利用): 「ターボ CPU」とは、タスクの優先度を再配置して、重要なタスクを最優先で処理する高速化ツールです。

動画変換に使用するメモリ: PC のメモリの利用方式に 5 つのオプションを提供: 自動、高速、標準、高品質、最高。普通には、「自動」はソース及び現在の設定によって、PC のメモリ使用量を調整することができるので、最適で一番推薦されます。「高速」を選択したら、通常より数倍速い速度でプロセスを処理できますが、ソースの品質に劣る動画ファイルを出力します。「高品質」を選択したら、高品質の動画ファイルを入手できますが、処理速度が遅くなります。「標準」を選択したら、処理速度と出力ファイルの品質はともに保証されます。また「最高」が最高のスピードを提供されないこともありますから、どうかご注意ください。各 PC システムが違いますから、各設定を試してみてください。



CD サイズ: 変換する際、作成されるファイルは目標のスペースに合うように、CD のサイズをカスタマイズします。

ズーム方式: このオプションで3つの選択を提供して、動画をズームイン/ズームアウトします。すなわち、低解像度ビデオから高精細度ビデオへズームインして、または高精細度ビデオから低解像度ビデオへズームアウトします。「高速」を選択したら、通常より数倍速い速度でプロセスを処理できますが、ソースの品質に劣る動画ファイルを出力します。

「標準」を選択したら、処理速度と出力ファイルの品質はともに保証されます。「高品質」を選択したら、高品質の動画ファイルを入手できますが、処理速度が遅くなります。

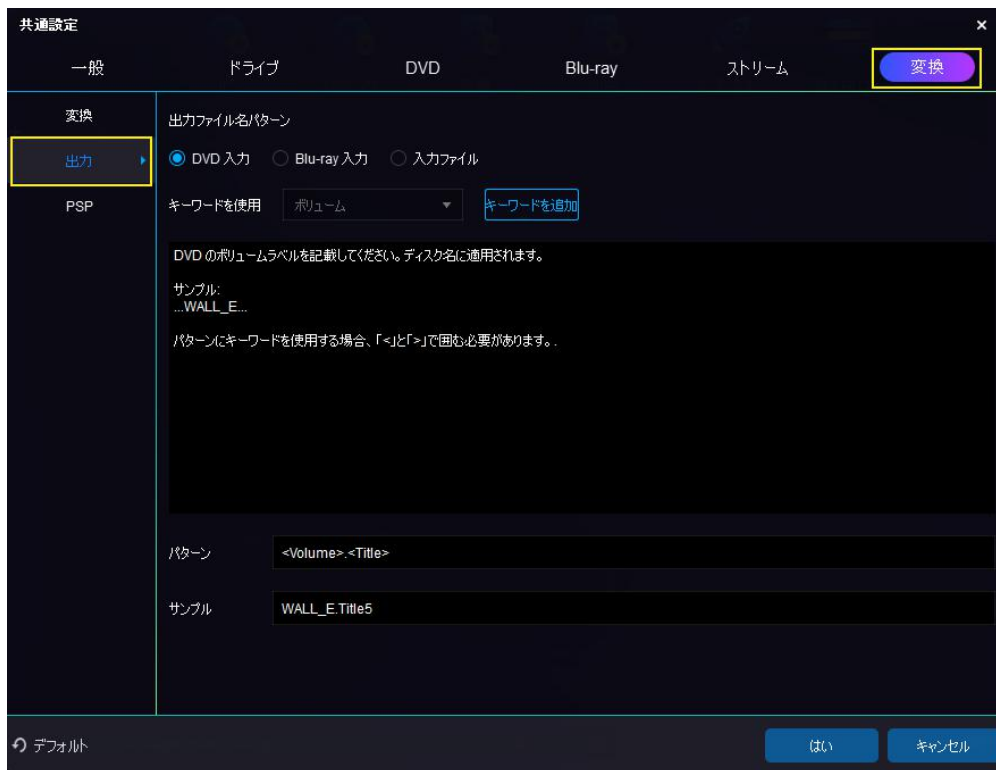
自動的にクロップ: このチェックボックスによって、クロップ機能をデフォルトに有効または無効にすることが出来ます。もちろん、変換を行う時にクロップ設定ページにおけるボタンを使って上記の機能を手動的に設定できます。

マルチチャンネルをステレオにダウンミックス: ステレオ、ドルビー ProLogic II とドルビーサラウンド ProLogic の間で1つのステレオを選択します。

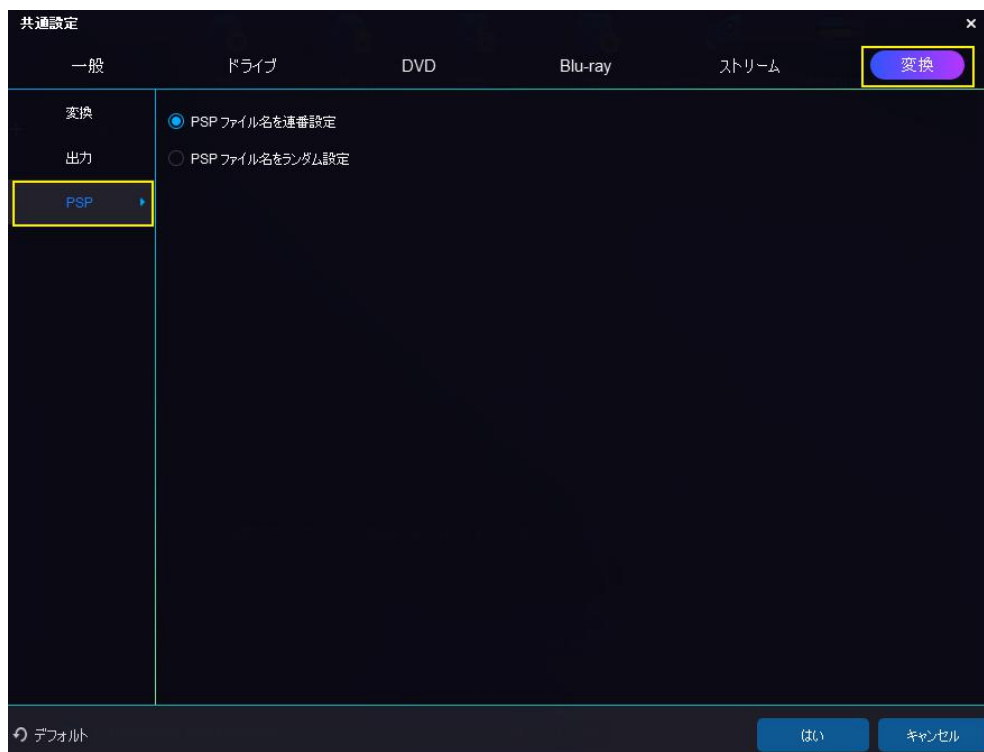
デフォルトフレームレート/オーディオ・チャンネル: 「入力元と同じ」、または「プロファイルに指定」に設定してください。

8.6.2 出力

DVD ソース、ブルーレイソース、ファイルソースに基づいて、出力ファイルの命名やキーワードの操作方法を定義します。



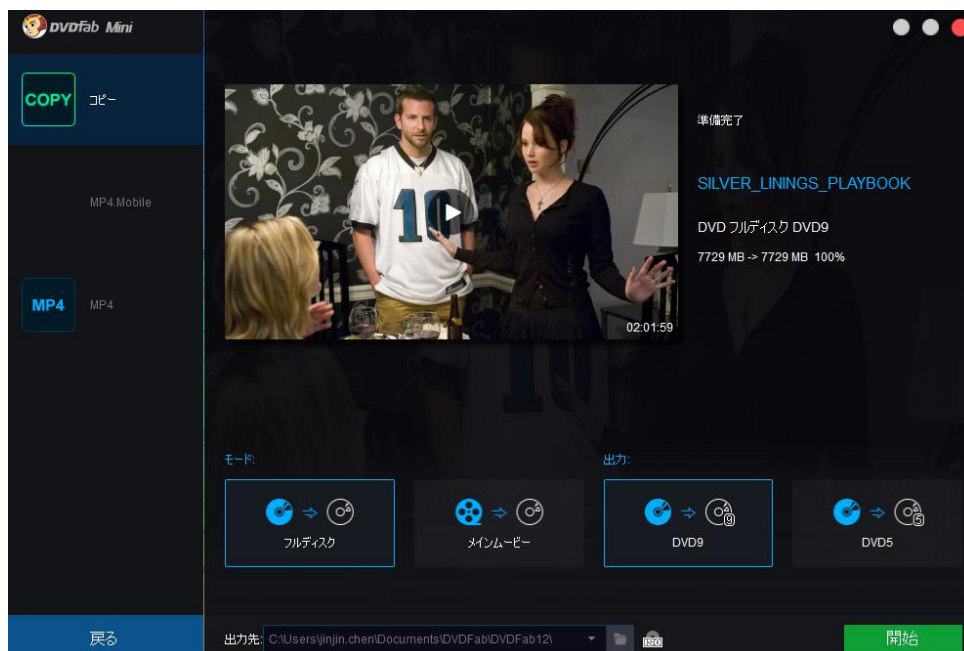
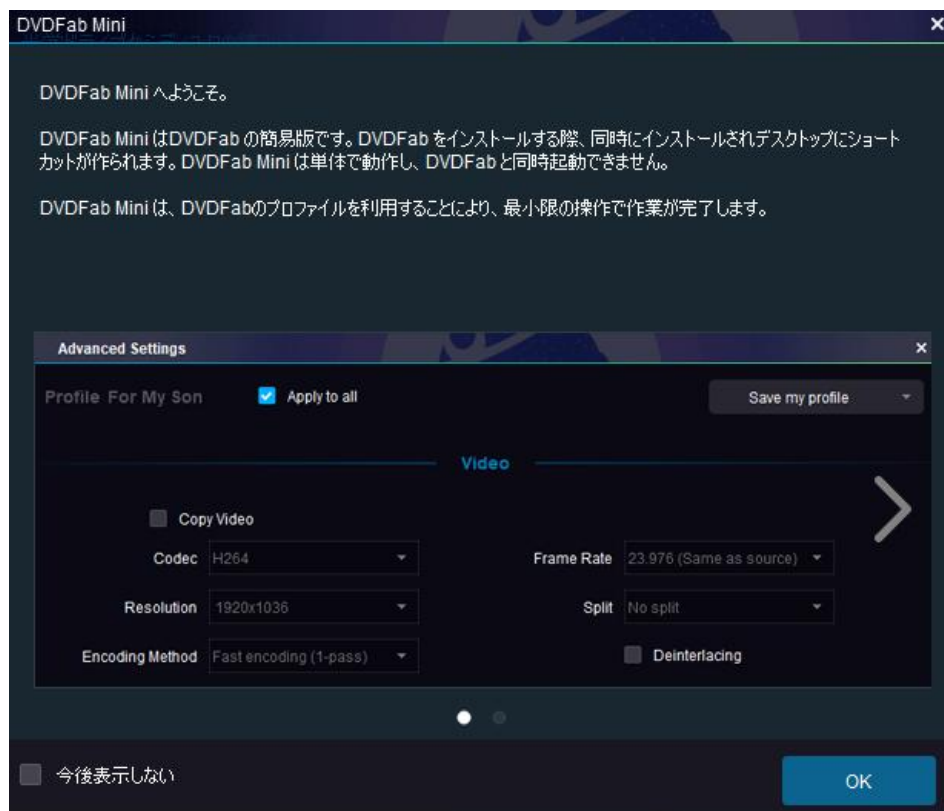
8.6.3 PSP



このページでは、PSP ファイル名を連番にまたランダムに作成する方法を選択できます。

「共通設定」画面のボトムにおける「デフォルト」ボタンをクリックすれば、全ての設定は工場出荷時の設定に戻ってきます。

9. DVD Fab Mini



DVD Fab Mini は、DVD Fab 12 の簡易版として、複雑なパラメーターを設定せずに、タスクを簡単かつ高速で行いたいユーザーのために開発され、DVD Fab コピーとリップリングモジュールを結合するソフトです。即ち、DVD Fab Mini によりユーザーは、最も少ないステ

ップでタスクを完成でき、初心者でもわかりやすいです。それで DVD Fab Mini の機能は Mini ではなく、強力です。

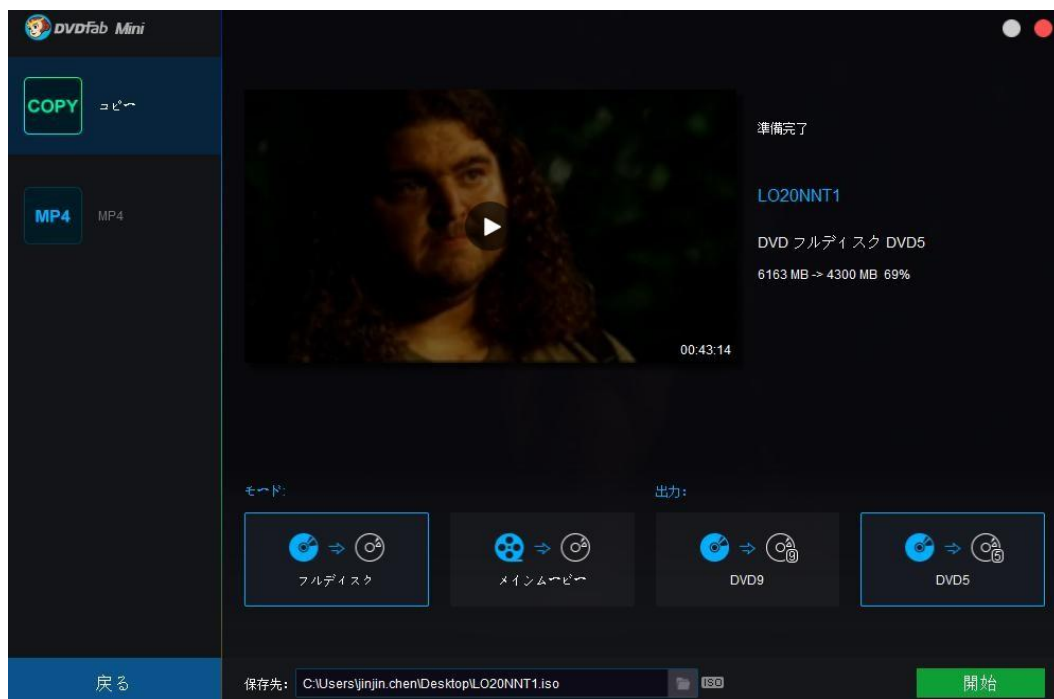
DVD Fab Mini は独自のインストーラプログラムを持っていません。DVD Fab 12 をインストールする際、自動的にユーザーのパソコンにインストールされ、デスクトップにショートカットで表示されます。DVD Fab Mini は、DVD Fab 12 と同時に動作できますが、「共通設定」>「一般」>「DVD Fab は複数のインスタンスを実行します」をチェックする必要があります。以下 DVD Fab Mini のインストールと使い方を詳しく紹介します。

9.1 DVD Fab Mini の設定

DVD Fab Mini をダウンロード・インストールするには、<http://ja.dvdfab.cn/> から最新版の DVD Fab 12 をダウンロードすればいいです。インストールした後、デスクトップに DVD Fab 12 の隣に DVD Fab Mini のショートカットも表示されます。

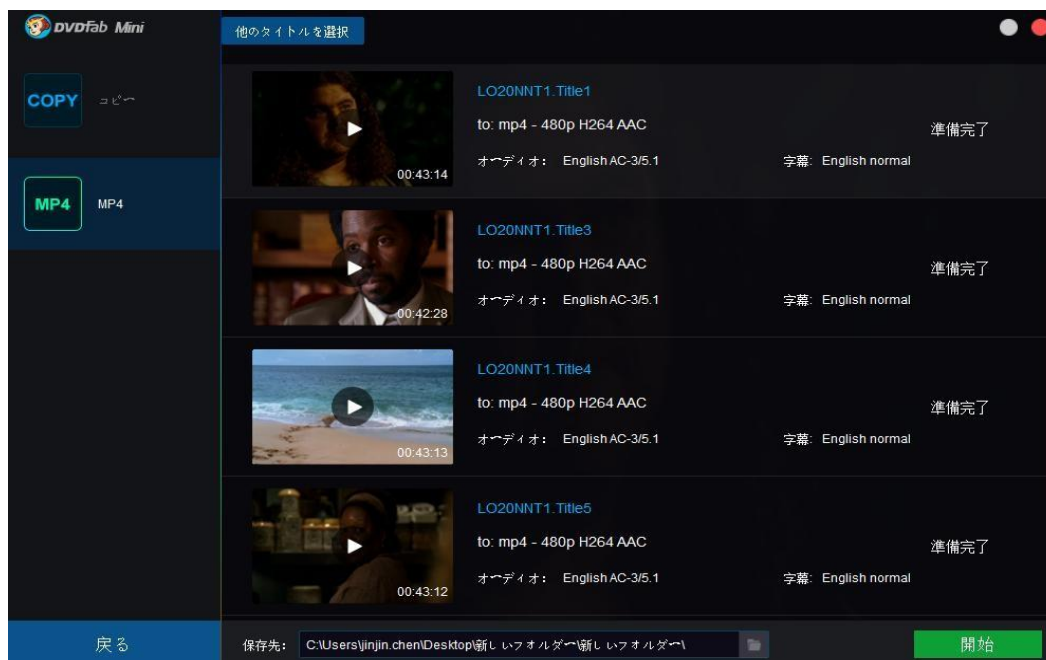
9.2 DVD /Blu-ray をコピー

DVD/Blu-ray をコピーする時、「コピー」タブをクリックして、光学ドライブに DVD /Blu-ray ディスクを挿入してまたはハードディスクから ISO ファイル/ DVD フォルダをロードします。ソースの解析が完了した後、コピーモードを選択して、出力サイズと保存先を設定して（「メインムービー」モードを選択した場合、オーディオと字幕も設定可能）、そして「開始」ボタンをクリックして、タスクを実行します。



9.3 DVD/Blu-ray をリッピング

DVDFab Mini は、変換プロファイルが 1 つしかないので、DVD/Blu-ray をリッピングする時、MP4 タブをクリックしてください。そして DVD/Blu-ray ソースをロードして、オーディオ、字幕と保存先を選択してから、「開始」ボタンをクリックして、変換プロセスを実行します。

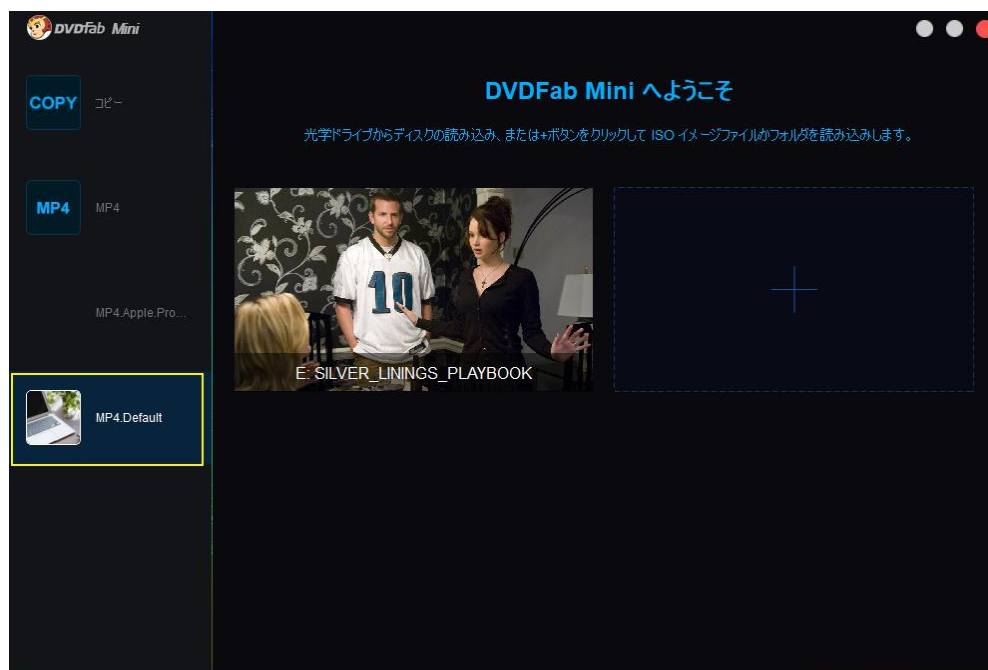


9.4 ほかの変換プロファイルを追加

DVDFab 12 のほかの変換プロファイルを利用したいなら、「詳細設定」で使いたいプロファイルを手動で保存しなければなりません。今度 DVDFab Mini を起動する際、ユーザーに保存されたカスタムプロファイルは自動的に DVDFab Mini にインポートされます。



DVDFab 12 で個人のプロファイルを保存



保存されたプロファイルが DVDFab Mini で表示されます

10. DVD Fab リモート

DVD Fab リモートは、DVD Fab のタスクステータスをリアルタイムに確認して、更新に関するプッシュ通知をタイムリーに取得する便利なモバイルアプリです。ユーザーはコンピュータの前でタスクの進捗状況をずっと見る時間がない時、このアプリを利用できます。

10.1 DVD Fab リモートの使い方

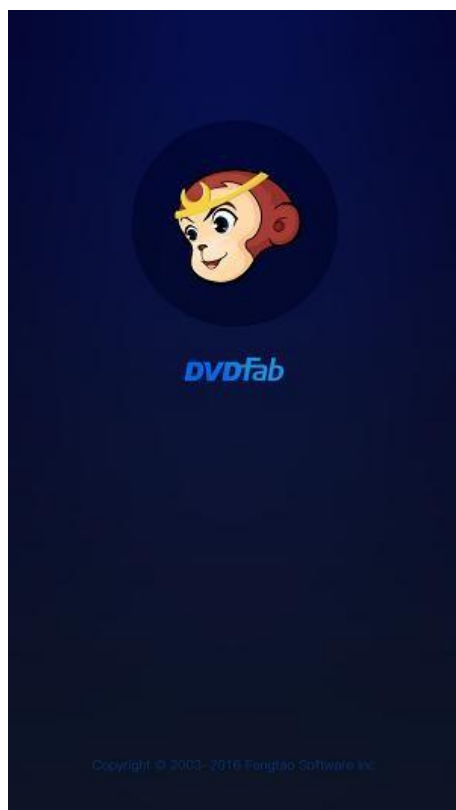
DVD Fab クライアントでポップアップウィンドウが出ると、DVD Fab リモートは適時通知を受信します。その時、ユーザーはコンピュータの前に戻って、必要な処置を取ってタスクを続けなければなりません。それに対して、DVD Fab クライアントでポップアップウィンドウが出ないなら、ユーザーはスマートフォンのタスクの進捗状況をチェックすればいいです。

DVD Fab リモートにより、ユーザーは DVD Fab クライアントでポップアップウィンドウが出るかどうか、またはタスクの進捗状況をチェックできますが、スマートフォンで DVD Fab クライアントの操作を直接に実行できません。下記は DVD Fab リモートの詳細な操作手順です。

10.2 DVD Fab リモートの操作手順

10.2.1 QR コードをスキャンして、または Apple App Store / Google Play から DVD Fab リモートをダウンロードして、スマートフォンにインストールします。

10.2.2 インストール後、DVD Fab リモートと DVD Fab クライアントの接続準備ができました。DVD Fab リモートを起動して、ようこそ画面の上部の中央に猿のロゴが表示されます。

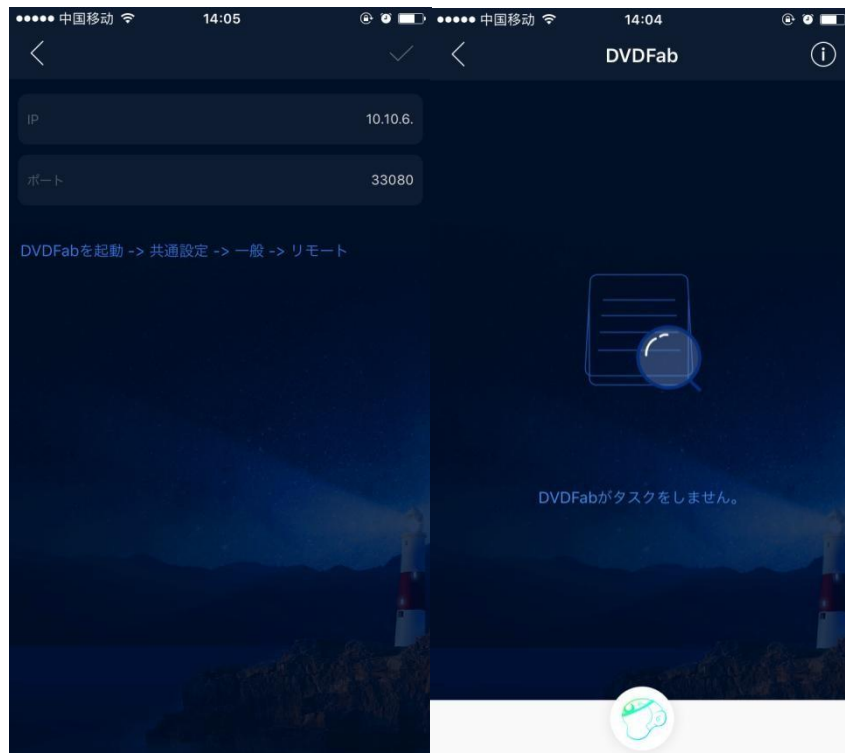


10.2.3 ようこそ画面が消えた後、DVDfab リモートは自動的に接続可能な DVDfab クライアントをスキャン（左側の画像）します。パソコンに DVDfab をインストールした場合、スキャンが完了した後、画面に表示された DVDfab（中央の画像）をクリックして、接続を確立すればいいです。パソコンに DVDfab をインストールしていないまたは DVDfab リモートで DVDfab クライアントの検出に失敗した場合、ユーザーは DVDfab を手動で追加しなければなりません（右側の画像）。

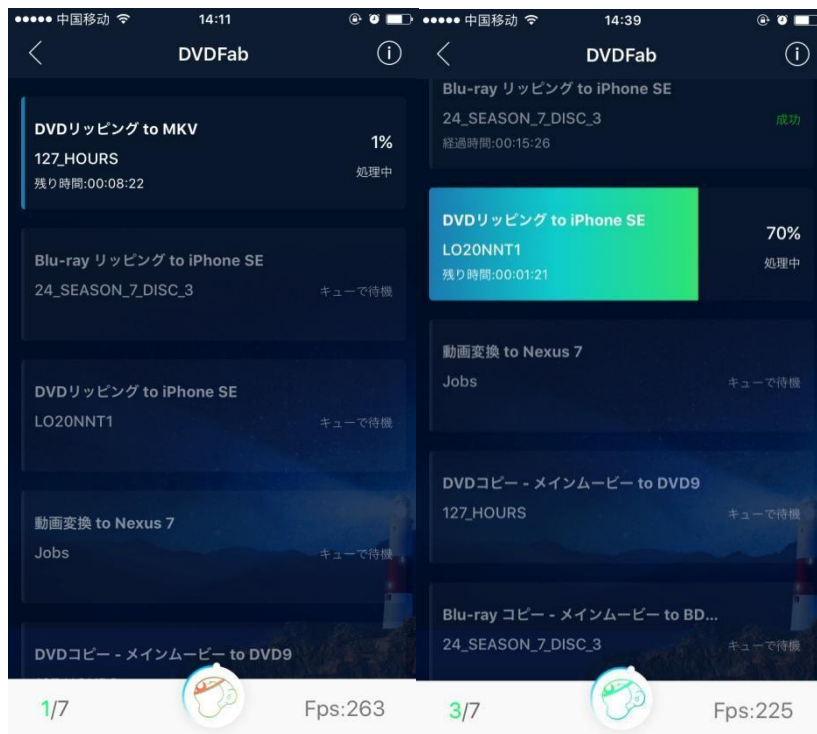




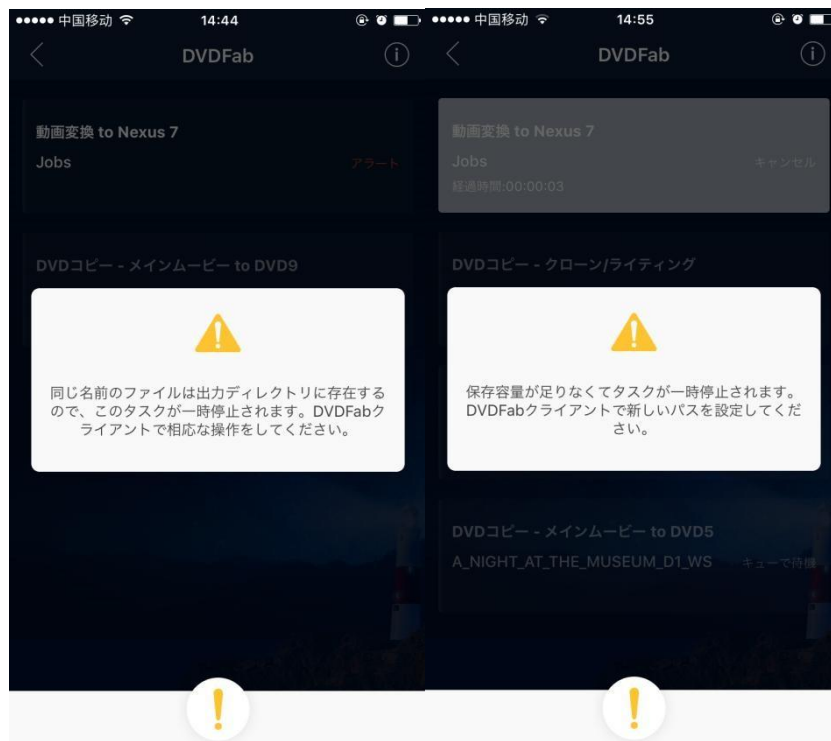
10.2.4 DVD Fabを手動で追加するには、メイン画面の底部におけるボタンをクリックして、IP アドレスを入力して、ポート番号を 33080 のままにして、そして√ ボタンをタップして接続してください。接続を成功に確立した後、DVD Fab リモートに実行中のタスクがない時、右のような画面が見えます。



10.2.5 DVD Fab クライアントで実行しているタスクがあったら、タスクのステータスをチェックできます。



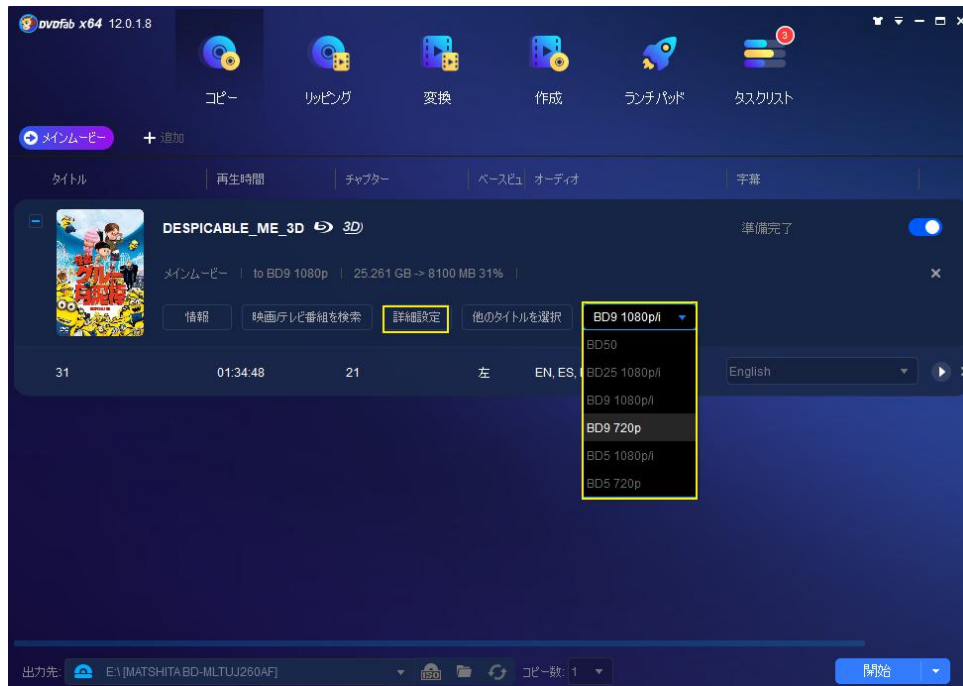
10.2.6 タスクを処理するプロセス中、ポップアップウィンドウが出ると、(通常タスクが一時的に停止される)、DVDFab リモートは通知を受信します。その時、ユーザーはコンピュータの前に戻って、必要な処置を取ってタスクを続けなければなりません。



11. よくある質問

◇ Blu-ray を BD-9 ディスクに焼きたいのですが、出力サイズはどこで設定しますか？

インターフェースにおける出力オプションから出力サイズを選択できます。または、レンチのアイコンをクリックして、「詳細設定」画面の「出力」オプションのドロップダウンメニューから BD9 1080p/i または BD9 720p を選択します。



◇ どこでオーディオとビデオのパラメータをリセットできますか？

映画タイトルの右側におけるレンチのアイコンをクリックして、「詳細設定」画面を開いて、必要に応じてオーディオとビデオのパラメータを自由に調整します。



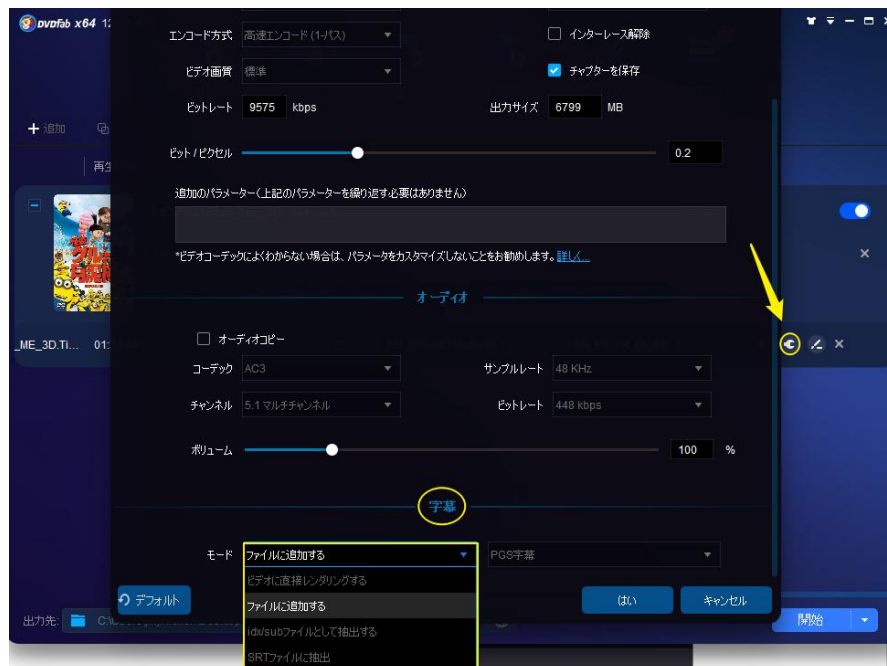
◇ どうやって変換プロファイルを MP4, H264 から MP4, H265 に変更しますか？

メインインターフェースの「プロファイルスイッチャー」をクリックして、内蔵のプロファイルライブラリを開いて、変換プロファイルを様々な動画/音声形式またはデバイスに変更できます。



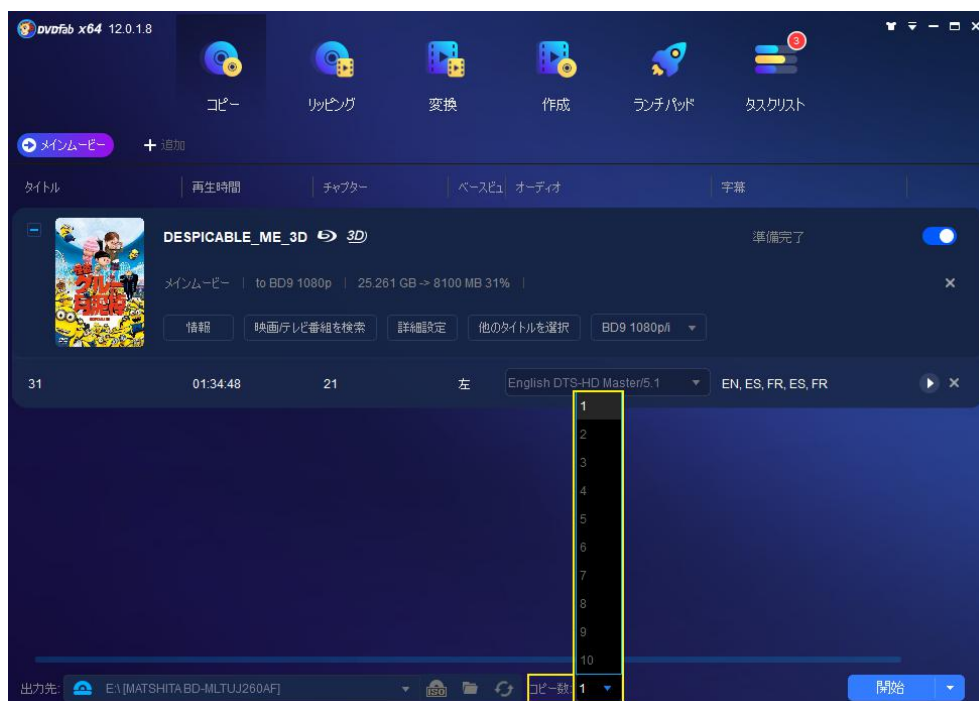
◇ どうやって字幕を直接動画にレンダリングしますか？

映画タイトルの右側におけるレンチのアイコンをクリックして、「詳細設定」画面を開いて、そして「字幕」セクションで字幕モードを選択します。



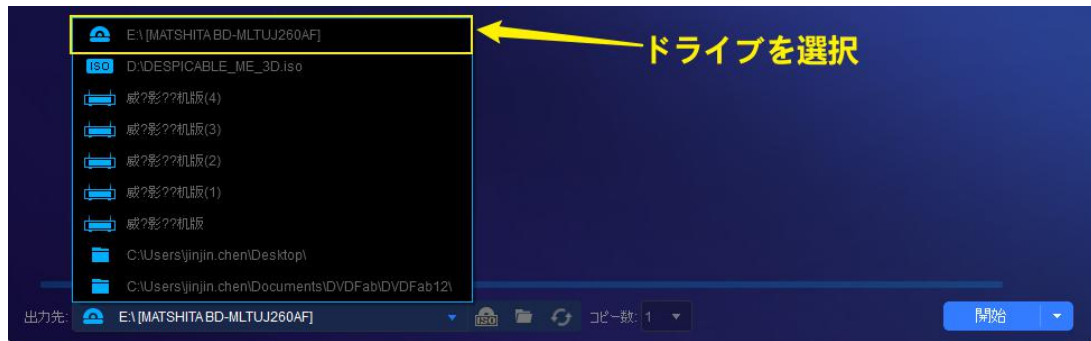
◇ コピーディスクの枚数は、どこで設定しますか？

DVDFab 12 でソースを 2 回以上コピーしたい場合、「コピー数」のドロップダウンメニューからコピーの回数を選択してください。一番目の書き込みプロセスが終了すると、もう一つのブランクディスクを挿入して、書き込みを続けます。



◇ どうやって DVD/Blu-ray を直接にブランクディスクに焼きますか？

DVD/Blu-ray 映画をブランクディスクに焼くには、「出力先」で DVD/Blu-ray の書き込みドライブを出力ディレクトリとして設定してください。



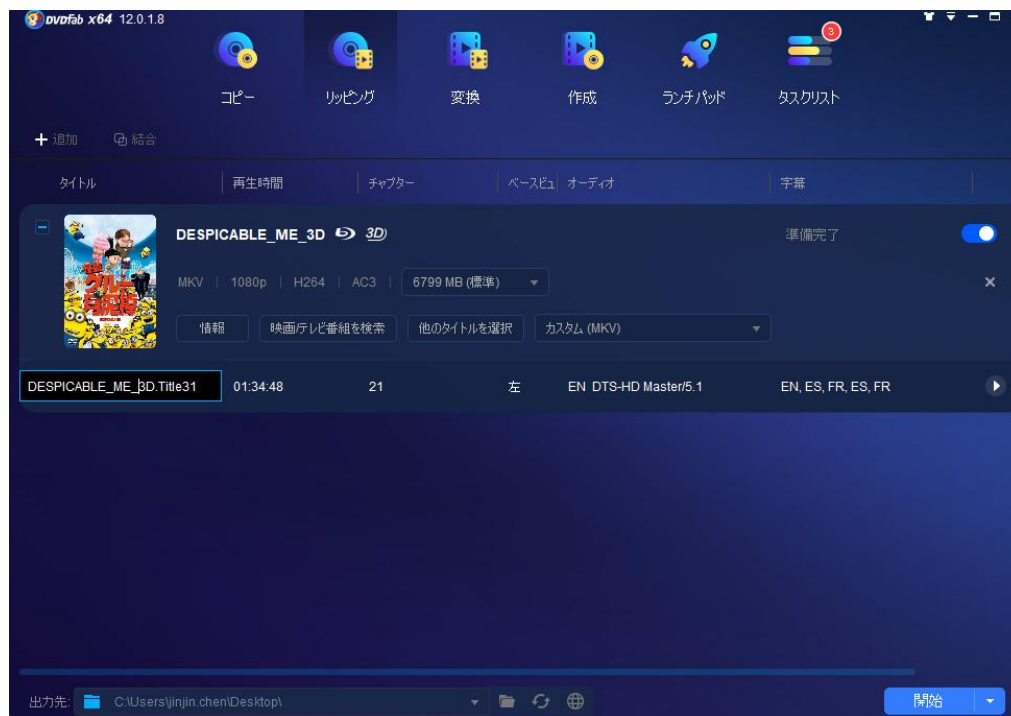
◇ どうやって保存先を変更しますか？

「保存先」でドロップダウンメニューからドライブを選択して、DVD/Blu-ray をブランクディスクに書き込みまたはフォルダー/ISO ボタンをクリックして、DVD フォルダー/ISO イメージファイルを作成して、HDD に保存します。



◇ 「リッピング」モジュールで出力タイトルの名称を変更する方法は？

映画タイトルをクリックして、編集可能状態にして、そして必要に応じて出力ファイルの名称を変更します。



12. ユーザーマニュアルの更新について

DVDFab.cn は、ユーザー及び顧客に事前通知なしに、必要に応じてユーザーマニュアルを変更または更新する権利を留保します。